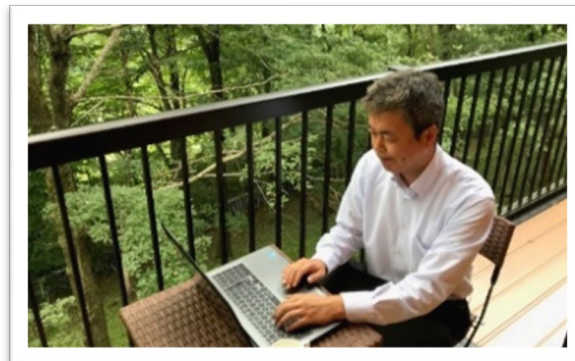


農山漁村発イノベーション事例集



第2版
令和5年6月
MAFF
農林水産省

本事例集について

○ 農山漁村発イノベーション事例集について

これまで農林水産省では、農林水産物の付加価値を高め、農林漁業者の所得向上に資する重要な取組の1つとして、農林漁業の6次産業化の推進に取り組んでまいりました。

令和4年度からは、この6次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値を創出していく「農山漁村発イノベーション」の取組を支援し、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図り、農山漁村地域の活性化を目指しています。

本事例集は、「農山漁村発イノベーション」の優良事例を横展開するため、都道府県から推薦のあった事例や様々な表彰事例の中から、多様な地域資源を他分野と組み合わせ、新たな雇用創出や所得向上につながる取組を行っているものを取りまとめたものです。

今後、毎年度、新たな事例の追加・改定を行ってまいります。

○ 構成

農山漁村発イノベーションの取組について、活用している地域資源、地域資源を活用している事業分野、参画している事業主体、売上や雇用等の成果等を中心に整理しました。

(選定表彰や活用した支援策等についても記載していますが、本事例には補助事業を活用していないモデルも含まれます)

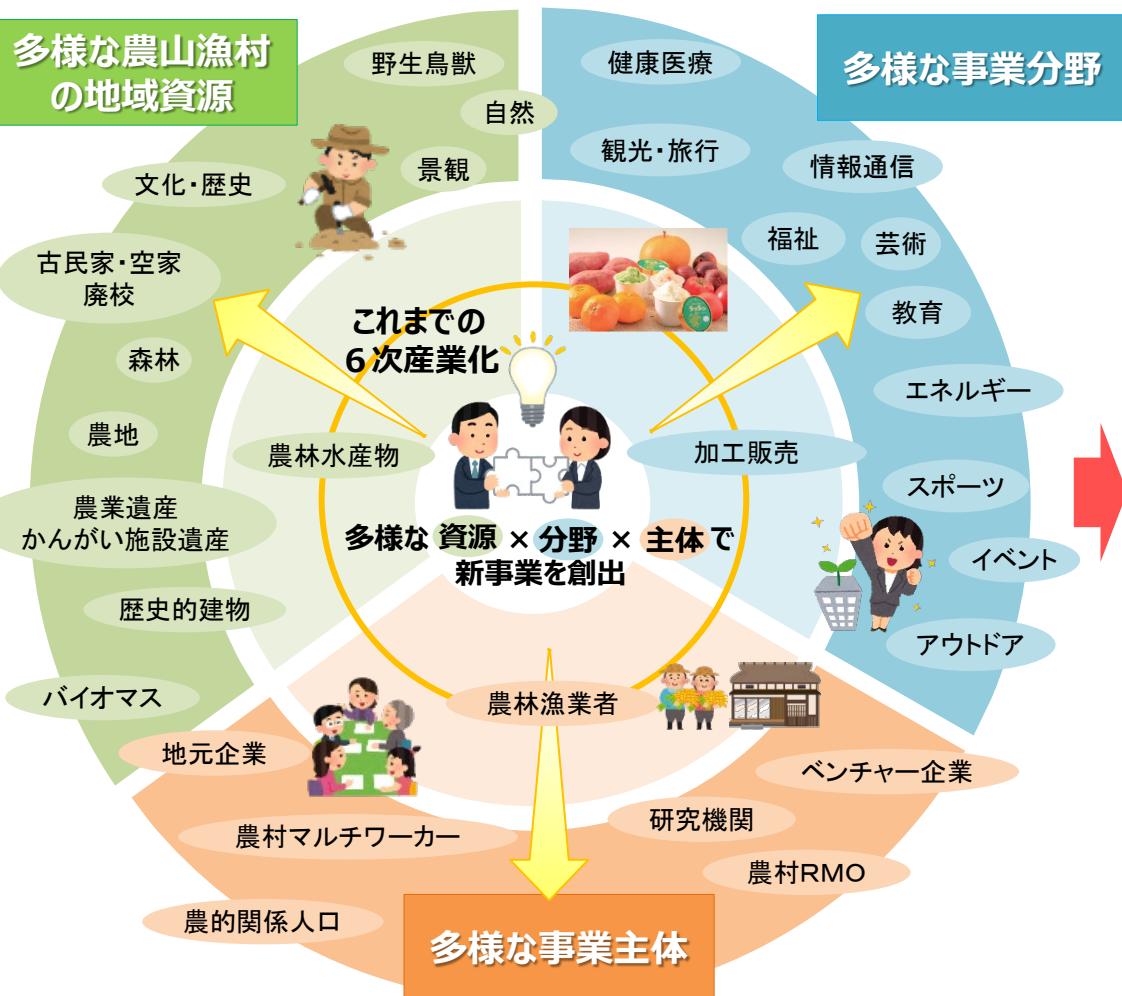
「農山漁村発イノベーション」とは

- 「農山漁村発イノベーション」とは、従来の6次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の**多様な地域資源**も活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた**多様な主体**の参画によって**新事業**や**付加価値の創出**を図る取組です。

農山漁村発イノベーション

- 農山漁村のあらゆる**地域資源**をフル活用した取組を支援
- 他産業起点の取組など**他分野**との**連携**を一層促進

多様な農山漁村の地域資源



地域資源と事業分野、事業主体を組み合わせ、**新事業**や**付加価値**を創出

<例1>

農産物、景観 × 加工販売、観光・旅行
× 農林漁業者、地元企業

= **竹林景観を活かした映画のロケ地や観光商品化**

<例2>

森林 × スポーツ × ベンチャー企業

= **森林サバイバルゲーム**

<例3>

農産物 × 加工販売、観光旅行、教育
× 農林漁業者、地元企業

= **農業交流拠点を核とした6次産業化、食育体験**

<例4>

森林 × 観光・旅行、健康医療
× 農林漁業者、地元企業

= **森林セラピー**

<例5>

農業遺産、文化・歴史 × 加工販売、観光・旅行
× 協議会（農林漁業者、地元企業等）

= **農業遺産を核とした6次産業化、観光振興**

改定履歴

版数	発行時期	改定内容
第 1 版	令和 5 年 3 月	• 初版発行【計38事例】
第 2 版	令和 5 年 6 月	• 12事例（事例No.01-02、03-01、10-01、15-02、15-03、17-02、20-02、26-04、30-01、30-02、37-01、47-02）を追加【計50事例】 • 第 1 版掲載事例のうち一部の説明文等を修正

目次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
01-01	特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会	農林水産物、景観	加工・販売、観光・旅行	農林漁業者、地元企業	北海道鶴居村	8
01-02	NPO法人やくも元気村	農林水産物、廃校	食品、観光・旅行、福祉	農林漁業者、企業、福祉施設、地域おこし協力隊、大学	北海道八雲町	9
02-01	社会福祉法人 誠友会 工房あぐりの里	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、教育	生産者、高校、NPO法人	青森県おいらせ町	10
02-02	有限会社金子ファーム	農林水産物、牧場、南部曲屋育成 厩舎	畜産、加工・販売、観光・旅行	農林漁業者、地元協議会	青森県七戸町	11
03-01	ユキノチカラプロジェクト協議会	農林水産物、文化	食品、観光・旅行、教育、イベント	協議会（町内事業者）	岩手県西和賀町	12
04-01	気仙沼水産資源活用研究会	農林水産物	食品、健康・医療	市、地元企業、地域おこし協力隊	宮城県気仙沼市	13
04-02	蔵王農泊振興協議会	文化・歴史、観光地、農林水産物、空き家、荒廃農地	食品、観光・旅行、福祉、エネルギー、情報通信	地域協議会	宮城県蔵王町	14
04-03	有限会社伊豆沼農産	農畜産物、ラムサル条約湿地	食品、観光・旅行、福祉、教育	生産者、地域協議会、大学	宮城県登米市	15
08-01	株式会社なめがたしろはとファーム	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、アウトドア	農林漁業者、地元企業	茨城県行方市	16
09-01	稲作本店	農林水産物、田んぼ	食品、観光・旅行、教育	生産者、商工業者、観光事業者、NPO	栃木県那須町	17
09-02	株式会社いちごの里ファーム	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉	生産者、社会福祉法人	栃木県小山市	18
09-03	株式会社ワカヤマファーム	農林水産物、竹林	食品、観光・旅行、アウトドア、イベント	生産者、地元企業	栃木県宇都宮市	19
09-04	さかがわ協議会	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、アウトドア、イベント	協議会	栃木県茂木町	20
09-05	Zutto きよはら	農林水産物、生産圃場	加工・販売、福祉、観光	農林漁業者、地元企業、福祉団体	栃木県宇都宮市	21
10-01	パーソルダイバース株式会社 とみおか繭工房妙義	農林水産物、文化	福祉、健康・医療、その他	生産者、JA、富岡製糸場	群馬県富岡市	22
12-01	特定非営利活動法人 大山千枚田保存会	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、教育	地域住民、JA、観光協会、商工会等	千葉県鴨川市	23

目次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
15-01	SNOW SAFARI 株式会社 SOUQ 株式会社	文化・歴史、自然、森林	観光・旅行、アウトドア、イベント	IT企業、観光DMO、観光協会	新潟県湯沢町	24
15-02	NPO法人越後妻有里山協働機構	農林水産物、棚田、景観	食品、スポーツ、芸術、情報通信、イベント	NPO法人、農林漁業者、サッカーチーム	新潟県十日町市	25
15-03	株式会社Mt.ファームわかとち	農林水産物、古民家、廃校、文化	食品、観光・旅行、教育、イベント	農地所有適格法人、地域協議会	新潟県小千谷市	26
16-01	株式会社森の環	農林水産物、森林資源	加工・販売、福祉、エネルギー	地元企業、スーパー、大学	富山県高岡市	27
17-01	春蘭の里・里山ステイ推進協議会	文化・歴史、景観、農林水産物	観光・旅行、食品、芸術、イベント	農家民宿、農林漁業者、旅行会社	石川県能登町	28
17-02	里山総合会社山立会	農林水産物、羊、ジビエ	食品、観光・旅行	地元企業・旅館・飲食店、地元大学、他地域ジビエ関係者	石川県白山市	29
18-01	伊自良の里・食と農推進協議会	農林水産物、間伐材、空き家	食品、観光・旅行、教育、エネルギー	協議会、森林組合、大学	福井県福井市	30
18-02	特定非営利活動法人ピアファーム	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉	就労支援事業所、農林漁業者	福井県あわら市	31
20-01	SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会	農林水産物、酒蔵、日本酒文化	食品、観光・旅行、教育、イベント	宿泊施設、食事施設、体験施設、生産者、酒蔵	長野県佐久市	32
20-02	稲倉の棚田保全委員会	農林水産物、景観、文化	食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント	農林漁業者、JA、企業、大学、地域おこし協力隊 他	長野県上田市	33
21-01	世界農業遺産 清流長良川の鮎	農林水産物、自然、文化、景観	食品、観光・旅行、教育	協議会等	岐阜県長良川上中流域（岐阜市、関市、美濃市、郡上市）	34
21-02	有限会社萬里	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉	加工事業者、宿泊事業者、農林漁業者、NPO法人ほか	岐阜県高山市	35
23-01	株式会社 田原観光情報サービスセンター	農林水産物、農業、自然	加工・販売、観光・旅行	民間業者、民間法人、市町村	愛知県田原市	36
26-01	上世屋定住促進協議会	上世屋のヒト、モノ全て	農林業、狩猟、工芸、加工	地域住民	京都府宮津市	37
26-02	京都おぶぶ茶苑合同会社	農林水産物、景観、日本茶文化	食品、観光・旅行、教育、情報通信、イベント	町、生産者、茶畑オーナー、国際日本茶協会	京都府和束町	38

目次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
26-03	社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城	農林水産物、文化	食品、福祉、教育	社会福祉法人、府、協議会等	京都府京田辺市	39
26-04	伊根浦地区農泊推進地区協議会	農林水産物、舟屋、文化	食品、観光・旅行	協議会（町、農林漁業者、酒蔵、金融機関等）	京都府伊根町	40
29-01	空中の村	農林水産物、木材、景観	食品、観光・旅行、情報通信、アウトドア	村、飲食事業者、観光事業者	奈良県十津川村	41
30-01	株式会社日向屋	農林水産物、ジビエ	食品、観光・旅行、教育、情報通信	農林漁業者、ジビエ処理施設、レストラン	和歌山県田辺市	42
30-02	世界農業遺産地域 みなべ・田辺の梅システム	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント	農林漁業者、町、市、県、ワーケーション推進団体	和歌山県みなべ町、田辺市	43
31-01	一般財団法人境港市農業公社	和綿「伯州綿」、栽培サポーター	地域活性化、加工・販売ほか	市、市農業公社	鳥取県境港市	44
31-02	NPO法人bankup （旧学生人材バンク）	学生人材、農林水産物	食品、地域振興、人材育成企画ほか	NPO、大学、銀行、自治体	鳥取県鳥取市	45
32-01	社会医療法人正光会さんさん牧場	馬事文化、農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、医療	就労継続支援事業所、流通企業	島根県益田市	46
33-01	株式会社エーゼログループ	森林、ジビエ、うなぎ、多様な人材	農林水産業、移住・起業支援、福祉	総合地域商社、起業家、地方自治体	岡山県西粟倉村	47
35-01	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン	農林水産物	食品、観光・旅行、教育	地元企業、生産者、観光事業者、教育機関	山口県周防大島町	48
36-01	家賀再生プロジェクト	世界農業遺産、農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、芸術	各種団体、農林漁業者、集落、学校、地元企業	徳島県つるぎ町	49
37-01	小豆島町中山棚田協議会	農林水産物、景観、文化	食品、観光・旅行、イベント	協議会、各地域団体、行政機関	香川県小豆島町	50
38-01	地域協同組合無茶々園	農林水産物、廃校	食品、コスメ	農林漁業者、福祉事業者	愛媛県西予市	51
38-02	遊子川地域活性化プロジェクトチーム 遊子川もりあげ隊	農林水産物	食品、観光・旅行	地域住民、地域おこし協力隊、トマトオーナー等	愛媛県西予市	52
39-01	一般社団法人 三原村集落活動センターやまびこ	農林水産物、文化・風習	食品、観光、福祉、健康ほか	村内の各種団体や地域の代表者	高知県三原村	53
41-01	株式会社クラベル・ジャパン （平田花園）	農林水産物	加工・販売、教育	農林漁業者、地元企業、福祉	佐賀県唐津市	54

目次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
42-01	有限会社シュシュ	農林水産物	食品、観光・旅行	地元企業、生産者	長崎県大村市	55
47-01	しろう農園株式会社	農林水産物、家畜	食品、観光・旅行、健康・医療	生産者、大学、学校・保育園、市、県	沖縄県宮古島市	56
47-02	株式会社沖縄UKAMI養蚕	農林水産物、廃校、荒廃農地	福祉、健康・医療	就労支援事務所、地元企業	沖縄県今帰仁村	57

- 「鶴居村農泊宣言。2600人の小さな村で暮らす旅」をキャッチフレーズに、酪農や乳製品、湿原などの自然環境等を活用し、地域経済や農村の活性化に資する農泊を展開。村内全体が連携し、滞在型観光プログラムを構築。

基本情報

- 所在地：北海道阿寒郡鶴居村
- 選定表彰：
 - ・令和2年度農林水産大臣賞（豊かなむらづくり表彰事業農林水産祭むらづくり部門）
 - ・ディスカバー農山漁村の宝第3回選定
 - ・北海道開発局主催「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール優秀賞
- 主力商品・イベント：
 - ・ワーケーションガイドブック
 - ・ガストロノミーツーリズムガイドブック
- 活用した支援施策：
 - ・平成29年度農山漁村振興交付金(農泊推進対策)

取組の概要

- 「鶴居村農泊宣言」をキャッチフレーズに、釧路湿原やタンチョウ等の自然資源と、主産業の酪農による乳製品等を活かした農泊事業を推進。
- 英語HP、SNS、海外現地PR、アフターコロナを見据えたオンライン交流などインバウンドを意識した情報発信。
- 滞在型観光促進のためサイクルやフットパスのルート設定、宿泊者に電動アシスト自転車をレンタルするモニター調査を実施。
- ワーケーション等の新たな旅のスタイルとして、「暮らすような旅」や子連れワーケーションによる「旅育」など鶴居ならではの旅のかたちを提案。
- 村内事業者と連携して貸別荘などの宿泊者をターゲットに、シカ肉やチーズ等の特産品セットの配達販売を試行。
- 地域資源を活用した商品開発や観光PRにより認知度向上や交流人口増加を図り、地域消費の拡大や更なる移住の促進を目指す。



「旅」と「仕事」を楽しむ子連れワーケーションの推進



ジビエ等の地元の食を味わうガストロノミーツーリズム

体制図

美しい村・鶴居村観光協会

農泊推進団体
(鶴居村あぐり
ねっとわーく)

鶴居村
農友会
林友会

釧路湿原
施設
(温根内ビジ
ターセンター)

景観・体験部会

地元
農業者等

村内
宿泊施設

鶴居村
消費者協会

食・交流部会

鶴居村農泊推進協議会

(特産品の開発・販売等)
鶴居村／
鶴居村振興公社

摩周・標茶・鶴居
プロモーションボード協議会
(周辺市町村との連携)

取組の成果

○鶴居村観光入込客数の推移（人）

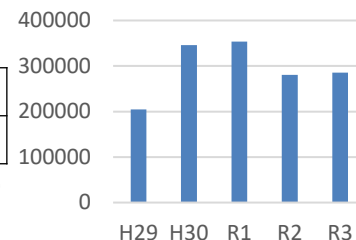
H29	H30	R1	R2	R3
204,800	346,200	354,100	280,800	285,400

(釧路総合振興局調べ)

○鶴居村総人口の推移（人）

H22	H27	R2
2,627	2,534	2,558

(国勢調査市町村別総人口)



ウェブサイト▶<https://tsurui-kanko.com/>

NPO法人 やくも元気村

地域資源：農林水産物、廃校

事業分野：食品、観光・旅行、福祉

事業主体：農林漁業者、企業、福祉施設、地域おこし協力隊、大学

○人口流出を軽減する「福祉」と関係人口の拡大を目指す「交流」を2本柱として、農産物の収穫などの体験観光事業や廃校を活用した交流拠点の整備等を展開。

基本情報

- 所在地：北海道二海郡八雲町
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・ホタテ、ネギ、カボチャ等
 - ・体験観光事業
- 活用した支援施策：
 - ・地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（観光庁）

取組の概要

- 障害者雇用も活用し、月2千円で毎週その時期に旬な野菜をお任せで届けるサブスクリプションサービスや農漁家への支援作業を実施。
- 「八雲グリーンツーリズム推進協議会」の事務局として、農家・漁家と交流や体験活動を行う体験観光事業を実施。
- 廃業した銭湯をリノベーションし、カフェ兼ゲストハウス「SENTO」を整備。野菜の直売所や地場産品を使用したカフェを併設。
- 町内の廃校をリノベーションし、キャンプ場兼レンタルスペースとして活用。



体験観光（ネギの収穫）

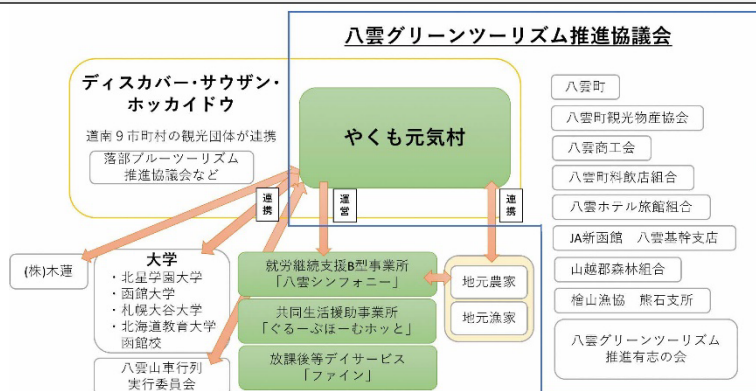


宅配用野菜の搬入



カフェ兼ゲストハウス「SENTO」

体制図



取組の成果

- 野菜の宅配・販売事業：約185万円（R4）
- ゲストハウスSENTOの宿泊者数：のべ1,458人（R4）
- 移住者：15人

ウェブサイト▶<https://yakumo-genkimura.com/>

社会福祉法人 誠友会 工房あぐりの里

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育
事業主体：生産者、高校、NPO法人

- 「誰もが地元で安心して暮らし続けられる地域づくり」を目指して、平成20年から本格的に農業生産と6次産業化に着手。観光農園は年間40万人が訪れる県内有数の観光スポットとして、障害者・高齢者の活躍の場として、更には地域の交流拠点として発展。

基本情報

- 所在地：青森県おいらせ町
- 選定表彰：
 - ・ノウフク・アワード優秀賞（R3）
 - ・第7回ディスカバー農山漁村の宝コミュニティ部門（R2）
 - ・地産地消等優良活動表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞（H27）
- 主力商品・イベント：
 - ・小麦、キクイモ、イチゴ、南国フルーツ等
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R2）

取組の概要

- 障害者の就労する場として、新鮮な野菜や南国フルーツを栽培できる大規模なハウスや直売所、加工施設、レストラン、圃場等が整備されており、土づくりから苗の植え付け、収穫作業、調理補助や加工作業、動物の世話など職種は多岐にわたる。
- 1人1人が抱える症状に合わせて仕事内容を調整するなど、自らの能力とペースで仕事をこなし、達成感ややりがいを得ながら働けるよう、農業を含む様々な職種の従事者が障害者とともに働き、支援・連携しながら作業を行っている。



熱帯ハウスのバナナ栽培



バリアフリーのイチゴ高設栽培



野菜加工施設

体制図

【観光農園アグリの里おいらせ】

- ・株式会社アグリの里おいらせ（農業法人）
- ・工房あぐりの里（福祉サービス事業所）
- ・NPO法人平成謝恩会（地域貢献）



- ・ふるさとの味研究会（高齢農業者団体）
- ・地元農業者
- ・地元公立高校

農作業委託・加工品の共同開発

取組の成果

- 平均工賃（B型）：16千円（H22）→ 25千円（R2）
- 収穫された小麦の取扱店舗：21店
- 関連商品：40種類以上を開発・販売
- 商品開発：ピクルス、ドレッシング、ふりかけ、漬物等の全9種類の新商品を開発。

ウェブサイト▶<http://agurinosato.jp/index.html>

有限会社 金子ファーム

地域資源：農林水産物、牧場、南部曲屋育成厩舎
事業分野：畜産、加工・販売、観光・旅行
事業主体：農林漁業者、地元協議会

- 循環型畜産、観光牧場、6次産業化の実践により、経営規模の拡大と就労環境の向上を実現し、持続可能な農業を展開。
- 南部の馬文化と地域とのつながりを大切にしながら、七戸町の滞在・周遊型観光の拠点として地域振興を推進。

基本情報

- 所在地：青森県七戸町
- 選定表彰：
 - ・全国肉用牛枝肉共励会(第二部)名誉賞 (R3)
 - ・第60回全国農業コンクール 農林水産大臣賞受賞 (H23)
 - ・全国優良畜産経営管理技術発表会 農林水産大臣賞受賞 (H21)
- 主力商品・イベント：
 - ・肉牛
 - ・ふれあい牧場（ジェラート、レストラン等）
- 活用した支援施策：
 - ・6次産業化推進整備事業 (H23)
 - ・農山漁村振興交付金(農泊推進対策) (R1)

取組の概要

- 循環型畜産（牛糞堆肥を肥料に飼料作物を生産等）を実践し、地域の同業者及び農業者とも連携しつつ、オリジナルブランド牛を含む1.5万頭を肥育。
- 豊かな社会生活に向け、自然や動物に触れ合える牧場を解放し、手作りのジェラート店、自社牛肉のレストランを整備、地域の歴史的建物である南部曲屋育成厩舎を改修。
- 七戸町「南部の馬文化」活用協議会と連携し、自社所有のふれあい牧場を滞在・周遊型観光及びインバウンド対応の観光交流の中核拠点として地域振興を推進。



牧場レストランNARABI
黒毛和牛ステーキ

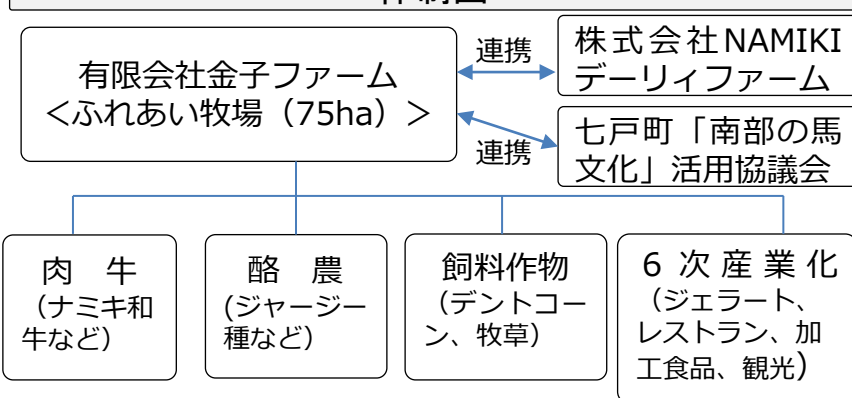


手作りのジェラート
(ジャージー牛のミルク使用)



七戸の馬文化の記憶を伝える
南部曲屋育成厩舎（登録有形文化財）

体制図



取組の成果

- 6次産業化の売上高：2億円 (R3)
- 雇用機会の創出：30人 (R3)
- ふれあい牧場への来場者数：約20万人 (R3)

ウェブサイト▶<https://www.kaneko-farm.jp/>

ユキノチカラプロジェクト協議会

地域資源：農林水産物、文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：協議会（町内事業者）

- 「豪雪」をデザインの力で「魅力」へ変えるという新たなコンセプトの下、西和賀町の地域ブランドを企画運営。
町内事業者、自治体、信用金庫、デザイナー等が連携し、6次化商品の開発やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：岩手県西和賀町
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）ビジネス・イノベーション部門
 - ・2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 地方創生担当大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・農産物（米、ワラビ、牛乳、野菜等）加工品
 - ・雪体験ツアー
- 活用した支援施策：
 - ・県立西和賀高校魅力化プログラム

取組の概要

- 西和賀町、北上信金、デザイナー等と連携し、地域資源を活用した加工品などの商品開発を行い、ユキノチカラブランドで販売促進、シティプロモーションにも繋げる。
- 雪あかりやかんじきトレッキングなど、雪国文化を体験できる「ユキノチカラツアー」を実施し、首都圏等からの誘客。
- 地元高校と連携した社会学習プログラム「西和賀高校×ユキノチカラ『魅力発見ラボ』」を実施し、人材育成も含めた地域の課題解決と魅力発信に取り組む。



ユキノチカラツアー

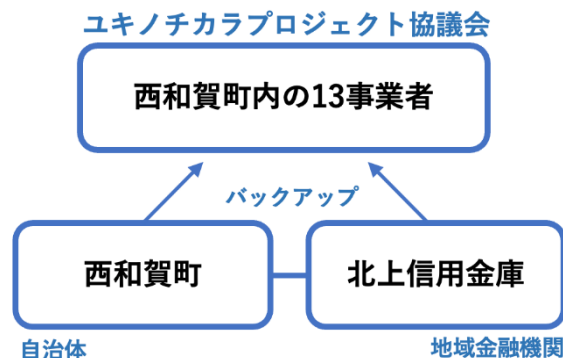


ユキノチカラブランド商品群



魅力発見ラボ

体制図



取組の成果

- 開発した商品数：13事業者30種類以上
- 西和賀町ふるさと納税の企画及びPRを担当し、認知向上に向けた地域ブランド（町内の産業・商品）のプロモーションを開始。（R5～）

ウェブサイト▶<https://yukino-chikara.com/>

○豊かな水産資源（フカ・ホヤ等）を活用し、食品から化粧品まで幅広い商品を開発し、「kesemo」としてブランド化。メディアで紹介されるほか小学校テキストへ掲載されることにより同市の水産加工業の認知度が向上。

基本情報

- 所在地：宮城県気仙沼市
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・ 令和元年度フード・アクション・ニッポン・アワード 入賞
- 主力商品：
 - ・ 水産加工製品ブランド「kesemo」(調味料、化粧品、化成品、ペットフード等)
- 活用した支援施策：
 - ・ 新しい東北事業助成金
 - ・ 地方創生加速化交付金
 - ・ 地方創生推進交付金

取組の概要

- 地元企業の知恵と想いを結集させ、気仙沼市の豊かな水産資源を活用した水産加工製品ブランド「kesemo」を立ち上げ。機能性食品や調味料、化粧品、化成品、ペットフードなど、市場に左右されない高付加価値でさまざまな領域の加工品を開発。
- フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。
- 開発した商品のメディアでの紹介や、全国の小学校で使用されるテキストに掲載されるなど、気仙沼の水産加工業をアピール。
- ホヤドレッシングを学校給食に提供するためにクラウドファンディングを実施。



ブランドネーム「kesemo」の共通ロゴ

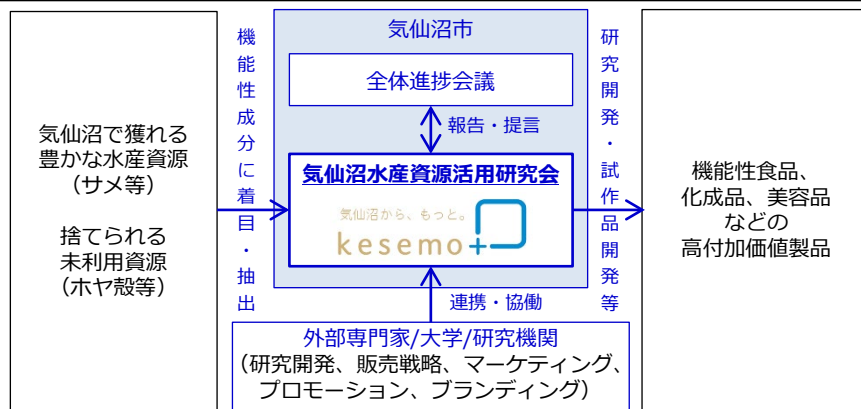


開発商品



イベント等での研究会のPR,商品販売

体制図



取組の成果

- 研究会に参加している企業：21社
- 特徴的な新商品の開発、情報発信
- 開発商品数：17品

ウェブサイト ▶ <https://kesemo.com/>

蔵王農泊振興協議会

地域資源：文化・歴史、観光地、農林水産物、空き家、荒廃農地
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、エネルギー、情報通信
事業主体：地域協議会

- 蔵王連峰や温泉などの観光資源に加え、陶芸体験や観光農園などの体験コンテンツを充実させ、空き家を活用した宿泊、地域食材を使った食とパッケージとして「農泊」を提供することで関係人口・交流人口の増加を図る。
さらに、宿泊施設にWi-Fi環境を整備し、テレワークやワーケーションを促進。

基本情報

- 所在地：宮城県蔵王町
- 選定表彰：
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・日本版「アルベルゴ・ディフーズ」認証
 - ・農泊
 - 観光・体験コンテンツ
 - 宿泊（空き家の活用、Wi-Fi整備）
 - 食（農家レストラン、地域食材を使った弁当、ケータリング）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 陶芸体験等、地域の文化・歴史に触れることのできる新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。
- コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。
- 廃温泉や木材等の再生可能エネルギーの活用や農福連携にも取り組む。
- 宿泊施設等においては障害者や高齢者等、社会的マイノリティを積極的に登用。



空き家を改修した宿泊施設



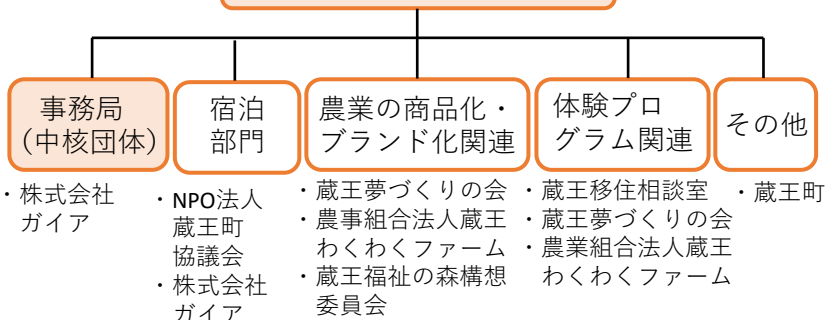
ワーケーションにも対応



体験コンテンツ（陶芸体験）

体制図

蔵王農泊振興協議会



取組の成果

- 農泊関連売上：500万円（H30）→3億2千万円（R3）→5億円（R4見込）
R4内訳 宿泊・食事等4億円、宿泊者物件購入金額1億円
- 宿泊者数：695人（H30）→3万8千人（R3）→4万2千人（R4見込）
- 新規雇用者数：18人（R3）20人（R4見込）
- 農泊振興協議会が関わる移住相談件数 150人（R4見込）
- 農泊振興協議会が関わる移住者数 18組（R4見込）

ウェブサイト▶<https://zao-nouhaku.jp/>

- 「農業を食業に変える」を経営理念に掲げ、米や野菜の生産、養豚と豚肉加工のほか、地域農産物の直売所、農家レストランの運営、食育や観光につながる体験教室、キャンプ場を活用した農泊を実施。

基本情報

- 所在地：宮城県登米市
- 選定表彰：
 - ・第6回「ディスカバー農山漁村の宝」(R1)
 - ・6次産業化アワード食料産業局長賞(R1)
 - ・地産地消等優良活動表彰農林水産大臣賞(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・豚、米、野菜、ブルーベリー
 - ・ウィンナー作り体験、交流型ツアー
 - ・キャンプ、オンラインウィンナー体験
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
 - ・都市農村共生対流総合対策交付金
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 100戸以上の地元契約農家で構成される「伊豆沼農産直売会」や、地元の養豚家で構成される「伊達の赤豚会」等と連携して生産した農畜産物や加工品を直営の直売所やレストランで販売。
- 子どもたちがウィンナー作りなどで生産過程を理解できる「食農体験教室」を開校しているほか、自社土地内に3万m²の食農体験ファーム「ラムサール広場」をオープン。
- 伊豆沼を訪問した観光客が自然散策や地元農畜産物を使ったバーベキューが楽しめる。地元の高齢者がガイド・受入をする農村体験、オンラインウィンナー体験も人気。



豚肉を使ったハム、ソーセージ

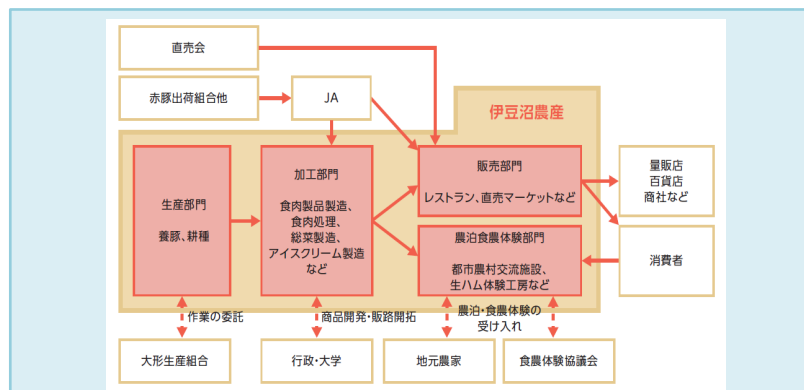


直売所「くんぺる」店舗外観



手作りウィンナー体験

体制図



取組の成果

- 100名以上の地元農家の生産物を直売所で販売し、約4.5億円の売上(R4)
- 「食農体験教室」の利用者：年間3,000人超
- キャンプ、オンラインウィンナー体験を活用した農泊事業の利用者：年間1,000組超

ウェブサイト▶<https://www.izunuma.co.jp/>

- 食品メーカーの農業参入により53haのほ場でかんしょを生産し、菓子加工や飲食店等での販売を実施。
- 廃校も利用した体験型農業のテーマパーク「らぼっぽ なめがたファーマーズヴィレッジ」は観光客増、雇用創出に貢献。

基本情報

- 所在地：茨城県行方市
- 選定表彰：
 - ・第56回農林水産祭天皇杯（H29）
 - ・関東農政局ディスカバー農山漁村の宝優良事例選定（R1）
- 主力商品・イベント：
 - ・かんしょの加工品
 - ・農業体験イベント・食育
- 活用した支援施策：
 - ・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（R2）

取組の概要

- 1年中季節ごとに楽しめる農業体験型のテーマパークで、地産地消のレストランやマルシェ、「焼き芋ファクトリーミュージアム」による食農教育等のほか、景観を活かし、自然と触れ合えるグランピングを展開。
- 地元JAや生産者、行方市や鹿島アントラーズと連携した農業体験・観光誘致を実施。



かんしょの加工品

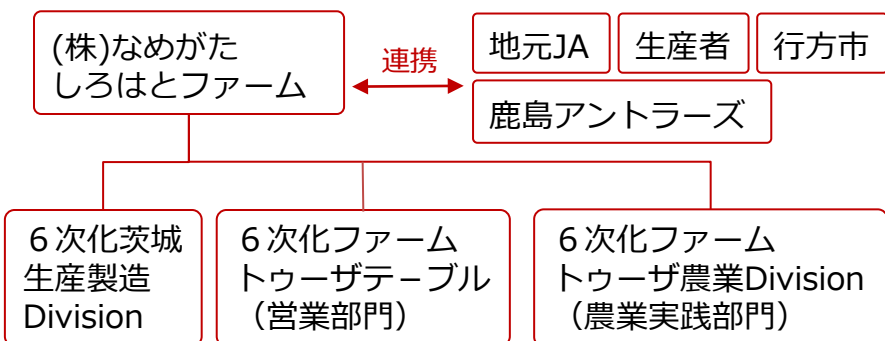


ファームグランピング



農業体験イベントの様子

体制図



取組の成果

- 従業員：正社員50名の他に、多様な人材からなる地域社員とパート社員を雇用することで、新たな雇用機会を創出。R4は100名。
- 来場者数：15万人（H27）→28万人（R1）（週6日営業）
現在はコロナ対策のため、土日祝のみの営業

地域資源：農林水産物、田んぼ
 事業分野：食品、観光・旅行、教育
 事業主体：生産者、商工業者、観光事業者、NPO

○「米を作るな、未来を創れ！」の理念の下、地元小学生の職業体験や出前講座に積極的に取り組むとともに、米や加工品を多数販売する。また、「開かれた田んぼ」を目指し、SNSやクラウドファンディングを活用した「田んぼでカフェ」や「田んぼでCAMP」の開催、農業体験プログラムの実施など、ネットとリアルを融合させた取組を行う。

基本情報

- 所在地：栃木県那須町
- 選定表彰：
 - ・地産地消等優良活動表彰全国地産地消推進協議会会長賞（R3）
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・米及び米加工品
 - ・田んぼでカフェ
 - ・田んぼでCAMP
- 活用した支援施策：
 - ・小規模事業持続化補助金（中小企業庁）
 - ・クラウドファンディング（campfire）

取組の概要

- 田植え・稲刈りなど地元小学校の体験授業のサポートや田んぼに関わる循環型農業の出前授業の実施、地元ホテルやNPOと連携した農業体験も企画・開催。
- 米を使った自家製商品の開発・販売を積極的に行っており、ポン菓子「イナポン」のほか、米粉ワッフル、甘酒等の商品化を行う。
- SNSやクラウドファンディングを活用して、田んぼの風景や重要性を情報発信するとともに、「田んぼでカフェ」や「田んぼでCAMP」を開催し、消費者と農業の懸け橋となっている。



小学校の田植え体験事業

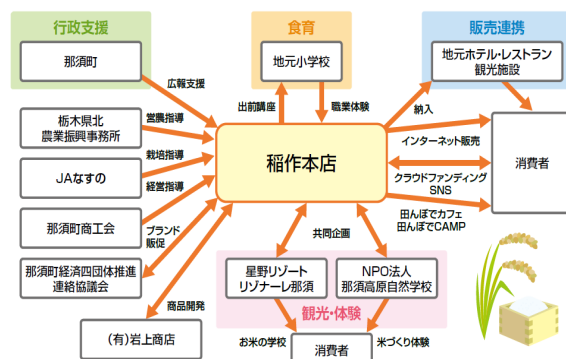


プレミアムポン菓子「イナポン」



田んぼでカフェ

体制図



取組の成果

- 小学校の体験学習や田んぼカフェ、CAMPなど集客数 200人/年間
- 就農後の3年間で、米の直売 取扱数量7倍、金額14倍
売上1,500万円増加
- Twitterのフォロワー数 約1万人獲得

ウェブサイト▶<https://farm1739.com/>

株式会社 いちごの里ファーム

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：生産者、社会福祉法人

○平成11年に会社を設立。いちごの観光資源化を目指しいちご狩りを開始し、未収穫分は加工販売のほかレストランやカフェも併設し6次化を推進。さらに、就労継続支援事業所を開設し農福連携にも取り組む。

基本情報

- 所在地：栃木県小山市
- 選定表彰：
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・第41回プロが選ぶ観光食事土産物施設100第3位 (R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・果物狩り（いちご、桃、さくらんぼ、ブルーベリー、ぶどう等）
 - ・果物加工品（ジャム、ケーキ等）
- 活用した支援施策：
 - ・栃木県ものづくり補助金 他

取組の概要

- 地元の野菜やいちごを使ったケーキ等を販売する直売所や、それらを提供するカフェやレストランを併設。
- 社会福祉法人「めぶき会」により障害者を雇用し、観光農園のほか、いちご加工品「王さまいちごゼリー」の販売等に従事。
- 平成30年にJGAP認証を取得し、食品の安全、環境保全、人権と福祉などへの配慮に取り組むとともに、継続的な取組とするため農場担当者4名がJGAP指導員資格を取得。



いちご狩り

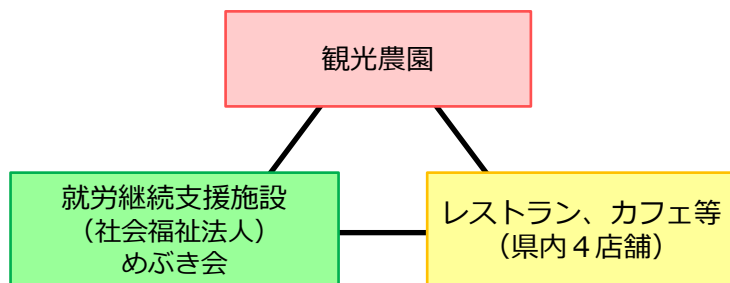


農福連携で働く従業員と「王さまいちごゼリー」



自社製いちごを使用した6次化商品

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：4.2億円（H20）→ 8.8億円（R3）
- 雇用者数：134名（R3）
- 障害者雇用数：58名（R3）
- 来客者数：年間約30万人（R3）

ウェブサイト▶<https://www.itigo.co.jp/>

- 宇都宮北部に24haの圃場を有し、竹、タケノコ、栗を栽培しつつ、その管理された竹林を観光資源として一般開放
- 竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、ロケ地としても利用。

基本情報

- 所在地：栃木県宇都宮市
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
 - ・ ふるさと文化財の森認定（R4年度、R5.3）
 - ・ 栃木県農業大賞 農村活性化の部 栃木県知事賞（R1）
 - ・ とちぎ地産地消夢大賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・ タケノコ・栗・加工品・竹材・竹植木苗
 - ・ 農業体験ツアー（収穫、竹工作体験等）
 - ・ 撮影・イベント場所の貸出
 - ・ 竹林観光事業（竹林キャンプ事業含む）
- 活用した支援施策：
 - ・ ものづくり生産性向上促進補助金(5次)
 - ・ 第三回令和2年度 事業再構築補助金

取組の概要

- 地域のシェフと連携したタケノコ加工品の開発、菓子メーカーと連携した栗菓子の開発のほかメンマ業界パイオニア事業者と国産メンマ開発などを実施。
- タケノコや栗の収穫体験に加え、間伐した竹で水鉄砲、弓矢や竹灯りなどを工作する「竹に触れて竹を好きになってもらう」農業体験ツアーを実施。
- 竹林の景観を評価され、撮影ロケ地として多くの作品で利用。栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションとも提携し、地元の知名度アップにも貢献。
- 竹林の散策、竹器でお抹茶、竹林ライトアップや、ハンモック TENT を竹の間に吊るし竹林で夜をあかすキャンプ事業など観光事業をスタートし、地域連携・周遊を促す。
- さらに、竹の魅力を伝える展示館、旬料理を楽しめる農家レストランをR5.4オープン の予定。



竹林の景観

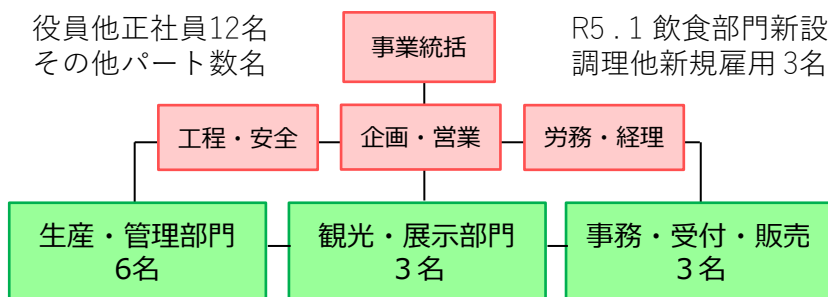


タケノコの6次化商品



竹林でのキャンプ事業

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：4,500万円（H28）→ 7,900万円（R4）
- 竹林を活用した事業の売上：600万円（H28）→ 6,400万円（R4）
- 入場者数：4千人（H28）→ 1万人（H29）→ 8万人（R4）

※農産物売上には、竹材・竹植木苗を含む。6次化商品売上には他社6次化商品仕入を含む
竹林活用事業のH28年度は撮影と収穫体験のみ、翌H29年から観光化、R4年度は見込み

ウェブサイト▶<https://www.wakayamafarm.com/>

○直売所、レストラン、加工所の複合施設「いい里さかがわ館」を拠点として、地元農産物等を活用した特産品づくりを行うほか、ミツマタ群生地を地域資源とした誘客など、所得向上や就労機会創出につながる様々な取組を展開。

基本情報

- 所在地：栃木県芳賀郡茂木町
- 選定表彰：
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)
 - ・とちぎ地産地消夢大賞（H30）
- 主力商品：
 - ・そば、エゴマ、ブランド米、イチゴ
 - ・ミツマタ群生地を活用したハイキングツアー等
- 活用した支援施策：
 - ・県営中山間地域統合整備事業
 - ・魅力ある中山間地域づくり事業

取組の概要

- 耕作放棄地解消の一環として、加工品需要が見込める「エゴマ」や、高齢者でも比較的少ない負担で生産できる「そば」の作付けを推進し、これらを加工・販売。
- 「そば」の全量買い上げにより、生産者1人当たりの所得向上と作付面積拡大を実現。
- 生産者の得意分野に応じた作目の栽培推進や、端境期が生じないよう栽培時期をずらす工夫など、町やJAと連携し農産物の周年安定供給体制を構築。
- 焼森山のミツマタ群生地を地域資源とし、登山道・遊歩道を整備。地元バス会社と連携したシャトルバスの運行やハイキングツアー開催等で県内外の交流人口を創出。



いい里さかがわ館



そばを使用したメニュー



ミツマタ群生地遊歩道整備

体制図



取組の成果

- そばの作付面積：3ha（H20） → 10ha（H30）
- 農家の所得向上：1人当たり50～100万円増
- いちごを使用したジェラートや甘酒などの新商品開発、販路拡大
- 交流人口の創出：年間1万人以上（H27）
- いい里さかがわ館の従業員の女性比率：約7割

ウェブサイト▶<https://sakagawakan.jp/>

- 宇都宮市清原地域の農業者が中心となり地元異業種と共に6次産業化やグリーンツーリズム等のプロジェクトを展開。
- 生産・加工・販売の全工程において農福連携を取り入れ、地域内の人材活躍の場づくりにより地域を活性化。

基本情報

- 所在地：栃木県宇都宮市
- 選定表彰：
 - ・栃木県農業大賞 農村活性化の部 関東農政局長賞・栃木県知事賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・野菜や椎茸を用いたピクルスやグラノーラ、サラダ麺、スムージー等の加工品
 - ・福祉施設運営による農産物直売所「プチ・マルシェきよはら」
 - ・地元旅行会社と連携した収穫体験ツアー
- 活用した支援施策：
 - ・アグリビジネス創出促進事業(うつのみやアグリネットワーク運営委員会(宇都宮市))
 - ・"ウェルカムとちぎ"農村の魅力向上支援事業（栃木県）

取組の概要

- 清原地域の農産物を使った商品開発により、高付加価値化をするとともに地元や都内イベントに出店するなどし、販路開拓及び地域の魅力を発信。
- インバウンド対応の収穫体験や農を生かした特色あるグリーンツーリズムの実施により、誘客促進を地域ぐるみで展開。
- 発足以前から農福連携を積極的に行い、生産や加工を福祉施設に委託するだけでなく、福祉施設が開設する直売所で農産物やZutto きよはらブランドを販売し、農と福双方のメリットを高めながら取組を発展。



様々な6次化商品



Zutto きよはらのメンバー



イベント出展PR活動



梨棚カフェの開催

体制図

Zutto きよはら

○生産部門：5農家1施設（（株）山口果樹園、浅川りんご園、阿久津農園、岡本トマト園、福田農園、（社福）飛山の里福祉会ハート飛山等）

○委託加工：
瓶詰工房
FunkyPine

○農作業及び農産加工
受託、販売：
社会福祉法人飛山の里
福祉会 ハート飛山

○加エアドバイ
ス：（株）MOVE
ON

○ブランド提案：
machimusume

取組の成果

- ずっと故郷を愛して大地の恵みを地域に届けたい想いを込め地域ブランド「Zutto きよはら」を創設
- 6次化商品の開発数：ピクルス、グラノーラ等4製品 全17種
- 食育や農業体験、各種ツアーを通じた清原地域への訪問による地域全体の活性化



ウェブサイト▶<https://zuttokiyohara.jimdofree.com>

パーソルダイバース株式会社※

とみおか繭工房妙義

地域資源：農林水産物、文化
事業分野：福祉、健康・医療、その他
事業主体：生産者、JA、富岡製糸場

- 国産の繭を生産・活用し、農福連携と6次産業化を通して養蚕の価値を向上させ、次世代への養蚕継承、障害者雇用の拡大など、地域の活性化に貢献。

基本情報

- 所在地：群馬県富岡市
- 選定表彰：
 - ・6次産業化アワード大臣官房長賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・絹糸を活用した織物やアクセサリー
 - ・シルク成分を活用した化粧雑貨
 - ・桑の枝を原料に使った和紙
- 活用した支援施策：
 - ・群馬県蚕糸業継承対策（多様な養蚕担い手育成事業）
 - ・富岡市多様な養蚕担い手育成事業
 - ・大日本蚕糸会繭生産緊急体制強化事業（新規養蚕参入者支援事業）

取組の概要

- パーソルグループの特例子会社として、障害者雇用の拡大と農福連携を推進しつつ、近隣の桑園を借り受けて自社管理し、市内の荒廃農地の解消にも貢献。
- 桑園の管理、蚕の飼育、繭の生産、シルク製品の製作を行うほか、廃棄される繭や毛羽を活用して化粧雑貨の開発など「廃棄しない養蚕」の実現を目指す。
- 化粧品メーカーとも連携しながら事業を展開。
- R4年4月より歴史的建造物である旧富岡倉庫にオープンした「Merci Cocon & Café」にて、シルクアクセサリーや化粧雑貨の販売を開始。



絹織物の様子

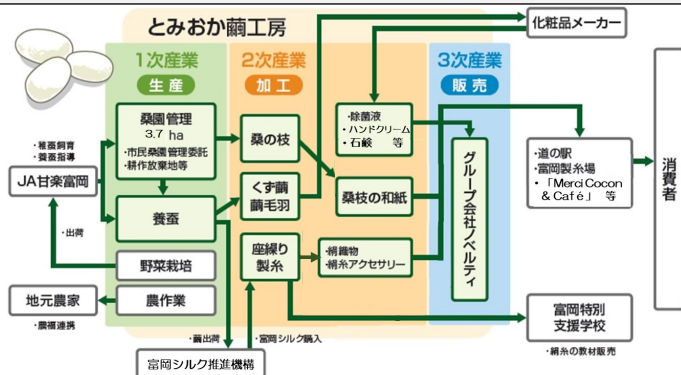


「とみおか繭工房」の販売ブース
（R4よりカフェで販売）



桑の葉の収穫

体制図



取組の成果

- 障害者雇用の創出：55名（R5.4時点）
- 県内化粧品メーカーと連携しシルク成分を配合したアルコール除菌液を開発し、パーソルグループのノベルティとして活用

※R5年4月より会社統合に伴い「パーソルサンクス株式会社」から「パーソルダイバース株式会社」へ社名を変更

ウェブサイト▶<https://persol-diverse.co.jp/>

○自然豊かな里山「大山千枚田（棚田）」の環境保全を進めながら、観光協会等と連携した都市との交流を通して豊かで潤いのある地域社会づくりを推進。古民家レストランを活用した所得と雇用の拡大にも貢献。

基本情報

- 所在地：千葉県鴨川市
- 選定表彰等：
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)
 - ・指定棚田地域（R2）
- 主力商品・イベント：
 - ・棚田（大山千枚田）
 - ・棚田オーナー制度、酒づくりオーナー制度
 - ・古民家レストラン
 - ・家づくり体験塾
- 活用した支援施策：
 - ・農業構造改善事業（地域農業基盤確立農業構造改善事業
 - ・近代化施設整備事業

取組の概要

- 棚田を地域資源とし、観光協会等と連携したライトアップイベント等を開催するほか、里山の環境保全や棚田/酒づくり/大豆畑のオーナー制度などの取組により、都市との交流を促進。
- 古民家レストラン「ごんべい」にて、地元農産物を利用したメニューの提供や農産物加工品の販売を行うことにより、所得の拡大と女性の雇用にも貢献。
- 県内外の小学校の宿泊学習を受け入れているほか、関東10大学の学生と連携した「棚田環境大学」によるワークショップ、荒廃竹林の整備・再生、イベント等を実施。



幻想的な棚田（松明）



古民家レストラン



体験学習（祭り寿司づくり）

体制図

特定非営利活動法人 大山千枚田保存会

- ・棚田の保全活動
- ・棚田米のブランド化
- ・農家レストランの運営
- ・自然体験活動の運営
- ・情報の収集、発信 など

連携

行政
観光協会
旅館組合
商工会
NPO法人
関東10大学
地元林業家、大工
地元住民

取組の成果

- 交流人口の創出：年間 1 万人以上（R1）
- 古民家レストランの売上：約700万円（R1）
- 家づくり体験塾による古民家再生：13件（H18～R2まで）
- 小学校宿泊学習の受入：112組、5,594名（R1）

ウェブサイト▶<https://senmaida.com/>

- 雪国の暮らし体験ツアーのほか、ハラルやベジタリアン向けにアレンジした伝統食等の観光プログラムにより国内外の観光客を誘致するとともに、関係人口構築アプリを運用し、地域とのつながりを求める旅行者や企業と、関係人口によりコミュニティを維持したい地域とのマッチングにも取り組む。

基本情報

- 所在地：新潟県湯沢町
- 選定表彰：
 - ・INACOMEビジネスコンテスト ファイナリスト (R1)
 - ・新潟企業チャレンジ ビジネスプランコンテスト 優秀者 (H30)
 - ・観光庁 観光地域づくりマネージャー
- 主力商品
 - ・コワーキング、温泉・サウナ/宿泊施設運営
 - ・ハラル/ベジタリアン等、様々な文化背景の観光客に対応したユニバーサルデザインの着地型ツアー
 - ・観光DXツール/アプリケーションの開発
- 活用した支援施策：
 - ・始動 Next Innovator プログラム
 - ・INACOMEアプリケーション

取組の概要

SNOWSAFARI(株)：持続可能な観光地域づくりをテーマに活動

- 雪国の暮らし体験ツアーや地元農産物を使用した伝統食、発酵食をハラルやベジタリアン向けにアレンジし提供する等の観光プログラムを構築。
- 空き家や廃業した温泉宿等の改修を行いゲストハウスやコワーキングとして運営。コワーキングスペースをプラットフォームとして提供し、長期滞在するノマドワーカーの誘致等により地域の関係人口及び移住者の増加に貢献。

SOUQ(株)：WEB3.0/観光DXを基盤にオーバーツーリズム問題に取り組む

- 多様な交流人口を地域の関係人口に醸成させるための仕組みを創発。

“FOUNDEE”はローカルエリアのオーバーツーリズム問題と担い手不足問題を解決するWebサービス。旅行者に地域の環境保護/文化継承の担い手となってもらう対価に、地域で“えこひいき”されるNFT（デジタル上の認証バッジ）を配布。地域との繋がりを求める旅行者や企業と、関係人口によりコミュニティを維持したい地域を貢献の可視化をベースにマッチング。



伝統食



コワーキングスペース・サウナ付き一棟貸し



海外ノマドワーカーのとある休日

体制図

SNOW SAFARI (株)

DX等連携

SOUQ (株)

DMO
雪国観光圏
雪国観光舎

農林業者

国際大学
(他 教育機関)

国内向けツアーや
ワーケーション、
海外ブランディング
連携

農林作業連携
リトリートツ
アー等提携

産学連携
プロジェクト
インターンシップ

SNOW SAFARIが観光や地域事業に取り組む中で生まれた課題をDX・IT活用で解決することをミッションとしている連携会社

取組の成果



関係人口構築アプリケーション
 “FOUNDEE”を通じて、地域の里山保全、古民家の再生、耕作放棄地の再活用などのプロジェクトを立上げ支援/ツアー化。

- ・支援プロジェクト数 12 (R4)
- ・関係人口化 (NFT発行) 225名 (R4)
- ・参加企業数 12社 (R4)

ウェブサイト ▶ <https://www.snowsafari.jp/>

- 「大地の芸術祭」や棚田オーナー制度による都市住民のほか、女子サッカー選手など多様な人材により棚田を保全するとともに、地域活性化に貢献。

基本情報

- 所在地：新潟県十日町市
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）
 - ・コミュニティ・地産地消部門 特別賞
- 主力商品・イベント：
 - ・大地の芸術祭
 - ・棚田オーナー制度「まつだい棚田バンク」
 - ・女子サッカーチーム「FC越後妻有」
- 活用した支援施策：
 - ・中山間地域等直接支払交付金
 - ・農の雇用事業

取組の概要

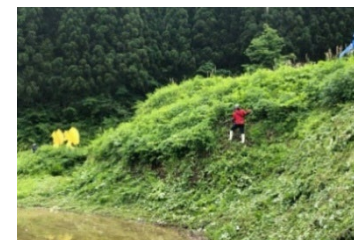
- 「大地の芸術祭」のプロジェクトの1つとして、2003年「まつだい棚田バンク」を発足し、その後本格組織化。棚田オーナー制度や芸術祭を通じて都市住民など多様な人が棚田を保全する活動を開始。
- 全国リーグを目指す女子サッカーチーム「FC越後妻有」をつくり、女子サッカー選手が農業の担い手となる一方で、サッカー教室や講演を実施し、多数のメディアに掲載され地域の活性化に寄与。
- ドローン、水位センサー等のスマート農業の導入により作業負担を軽減。



田植えをするサッカー選手

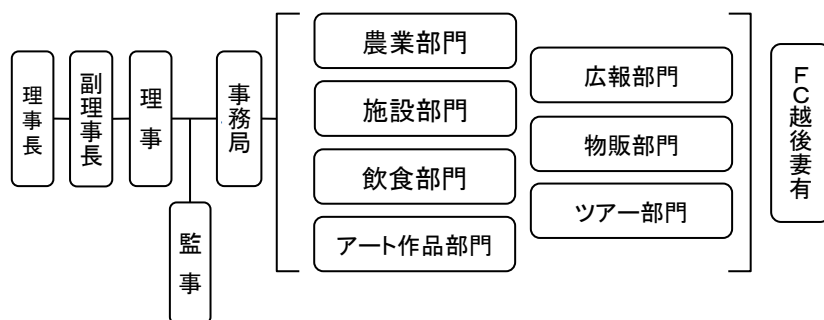


ドローンを利用した農薬散布



芸術作品を設置する棚田の整備

体制図



取組の成果

- 棚田バンク会員口数※：774口（H29）→ 919口（R3）→ 1,106口（R4）
- 地域外からの農業担い手としての移住者：17名（H21～R4）

※小口換算

株式会社 Mt.ファームわかとち

地域資源：農林水産物、古民家、廃校、文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：農地所有適格法人、地域協議会

○中越地震により被害を受けた地域の活力を取り戻すため、地域住民が主体で「わかとち未来デザイン・実践プラン」を策定し活動を展開。地域資源のブランド化や、古民家を改修したグリーンツーリズム、外部の若者の受入を実践。

基本情報

- 所在地：新潟県小千谷市
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 日本農林漁業振興会会長賞、農林水産大臣賞
 - ・平成30年度北陸農政局「ディスカバー 農山漁村の宝」選定
- 主力商品・イベント：
 - ・米、野菜、山菜
 - ・農家民宿
 - ・研修生受け入れ
- 活用した支援施策：
 - ・中山間地域等直接支払

取組の概要

- 地元住民が収穫する山菜や農産物を買取り、廃校を利用して加工。加工品や米などの農産物を「若栃ブランド」として統一感あるパッケージで販売を展開。
- 古民家を改修し農家民宿を運営。
- 都市部の若者をインターン生として受け入れる「アグリパス」といったユニークな仕組みを活用して外部人材を受け入れ。
- JICAの海外研修生や中学生の教育体験旅行、市内小学校の総合学習などを集落内の農家で受入。



若栃ブランド商品

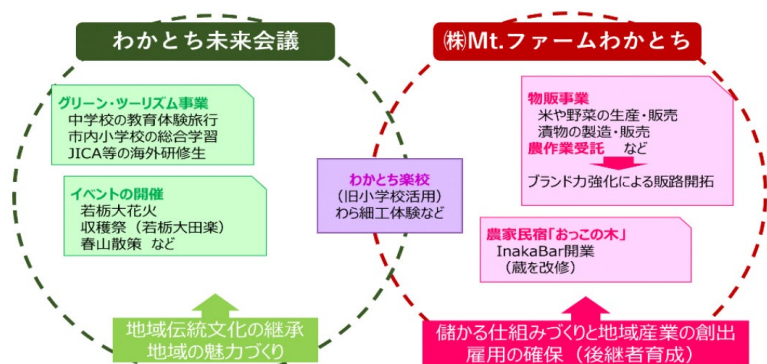


インターン生との蔵改修プロジェクト



農家民宿「おっこの木」

体制図



取組の成果

- 加工品の売上
30万円 (H25) → 540万円 (R1) → 550万円 (R4) ※
 - 農家民宿宿泊利用者数
350人 (H25) → 350人 (R1) → 300人 (R4) ※
- ※R4は新型コロナウイルス感染症の影響で減少

ウェブサイト ▶ <https://wakatochi.jp/>

○地域の間伐材を使った菌床により、しいたけや はなびら茸 等の栽培・販売を行うとともに、廃菌床を土壌改良材や燃料等に循環利用。高齢者や障害者の雇用も推進。

基本情報

- 所在地：富山県高岡市
- 主力商品：
 - ・ 菌床しいたけ
 - ・ 菌床はなびら茸
 - ・ 菌床きくらげ
 - ・ 各種加工品
- 活用した支援施策：
 - ・ 6次産業化ネットワーク活動交付金



【主力商品】
しいたけ（奥）
はなびら茸（手前）
※はなびら茸は幻のきのこ
と呼ばれ食物繊維の一種
であるβグルカンが豊富で
コリコリとした食感が特徴

取組の概要

- しいたけ・はなびら茸・きくらげを菌床から栽培、販売までを一貫体制で運営。
- 菌床の材料は、県西部産を中心とした広葉樹の間伐材を使用。栽培後の菌床は圃場にまき、元の木くずに戻すことで肥料や休耕地の土壌改良材としたり、固形燃料に使用したり様々な用途での再利用を検討。
- しいたけ・きくらげについては、有機JAS認証取得に向け取組中。
- 施設内の空調等エネルギーは、環境に配慮した地中熱システムや太陽光発電を利用。
- 高齢者や障害者を積極的に雇用、外国人技能実習生の受入も実施。



栽培施設の外観と内部



廃菌床（肥料や休耕地の
土壌改良材に再利用）



地中熱システム(左)と太陽光発電(右)
を併用したクリーン工場

体制図

（株）
森の環

菌床資材連携

富山県
西部森林組合

福祉連携

高岡地域若者
サポートステーション

生産技術協力

森産業(株)
(株)かつらぎ産業

加工商品開発協力

宝食品(株)
アサツクラ(株)

商品開発・店頭テスト販売協力

(株)ツルヤ

栄養機能性成分含有量研究協力

富山大学・麻布大学

取組の成果

- 6次化による売上高増加：362百万円（H29）→ 646百万円（R4）
- 有機JAS認証の菌床しいたけの国内流通はまだ少量。その付加価値に共感される量販店(消費者)からの問合せも増えており更なる増収に期待。
- 障害者にも優しい証「もにす認定」を取得(R4.10)、4名(R4)が従事。
※もにす認定：障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度。
- 従業員130名の約7割が女性。また、1割超が70歳以上。外国人技能実習生12名(R4)も受け入れ。

ウェブサイト▶ <https://morinowa.co.jp/>

春蘭の里・里山ステイ推進協議会

地域資源：文化・歴史、景観、農林水産物
事業分野：観光・旅行、食品、芸術、イベント
事業主体：農家民宿、農林漁業者、旅行会社

- 奥能登2市2町にまたがる農家民宿群「春蘭の里」をブランディングし、地域ぐるみで国内外の交流人口を獲得。
- 地域の伝統と文化を活かした「いましか、ここでしか味わえない感動」体験・交流メニューにより他地域と差別化。

基本情報

- 所在地：石川県能登町
- 選定表彰：
 - ・第11回観光庁長官表彰（R1）
 - ・農林水産祭内閣総理大臣賞（H23）
- 主力商品・イベント：
 - ・農家民宿での宿泊体験
 - ・旬の地元食材を使った郷土料理
 - ・世界農業遺産「能登の里山里海」を活かした体験・交流メニュー
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金ハード事業（定住促進・交流対策型）
 - ・農山漁村振興交付金ソフト事業（農泊推進対策）

取組の概要

- 過疎化が進む奥能登2市2町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）の農家民宿群「春蘭の里」をブランディング。農家民宿の連携体制を構築し、宿泊受付窓口を一元化。
- 黒瓦・白壁づくりで囲炉裏のある伝統的住居の整備、化学調味料・砂糖不使用の郷土料理、輪島塗の器での料理提供等により、農家民宿群としてのイメージと質を向上。
- 農家民宿での宿泊体験のほか、「春蘭の里実行委員会（地域の多様な関係者で構成）」と連携し、世界農業遺産に認定された能登の里山里海を活かした多様な体験・交流メニューを年間を通して提供。
- 旅行会社と連携したファムトリップにより、外国人旅行者の獲得にも取組中。
※ファムトリップ：観光情報の発信や旅行商品の造成などを目的に、海外の旅行代理店やメディア、専門家などを自分たちの地域に招聘する視察旅行。



輪島塗の器で提供する郷土料理



外国人旅行者の受け入れ



地域の活性化に取り組む移住者等

体制図

春蘭の里・里山ステイ推進協議会

一般社団法人春蘭の里（事務局）

宿泊部門

- ・農家民宿67軒
- ・NPO法人コブシ（廃校利用の体験型宿泊施設）

食事部門

- ・農家民宿67軒
- ・農事組合法人のと夢づくり（直売所）

体験・交流部門

- ・春蘭の里実行委員会
- ・農家民宿67軒

その他 旅行会社

取組の成果

奥能登全体で、修学旅行等団体客や旅行者の多様な要望に柔軟に対応する体制を実現。移住者の獲得にも貢献。

- 農家民宿数：1軒（H9）→ 67軒（R4）
- 受入旅行者数：30人（H9）→ 826人（R3）
- 修学旅行：0団体（H9）→ 11団体（R4）
- 移住者数(累計)：0人（H9）→ 10人（R4）

ウェブサイト▶<https://shunrannosato.info/>

○なめこ本来の味を堪能できる「木滑なめこ」^{きなめり}の栽培のほか、荒廃農地で放牧飼育された羊、捕獲したジビエ等を提供する食堂・ECサイトなど経営を多角化することで「里山の活性化と多様な課題への対応」を実現。

基本情報

- 所在地：石川県白山市
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）
 - ・ビジネス・イノベーション部門
 - ・スタートアップビジネスプランコンテストいしかわ2019ファイナリスト
- 主力商品・イベント：
 - ・でけえなめこ
 - ・羊肉（白山サフォーク）
 - ・ジビエ
- 活用した支援施策：
 - ・事業再構築補助金（食堂）
 - ・農業機械施設整備事業（なめこ）
 - ・クラウドファンディング（羊）

取組の概要

- 「里山総合会社」の体制を構築し、ビジネスの力で里山を活性化するために、里山における多角経営と、視察研修等による情報発信を実施。
- 菌床なめこ生産を中心に、羊の飼育・販売、ジビエ販売、里山食堂での提供、ECサイトでの通販、野生動物調査など、里山を舞台とした多角的な事業を展開。
- 羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全に貢献。
- 全国のジビエ関係者と共同でジビエ普及や安定供給の仕組みづくりを開始。



特大サイズの“でけえなめこ”



荒廃農地での放牧飼育



食堂で提供のジビエメニュー

体制図

里山総合会社 山立会

羊放牧事業

なめこ事業

食堂事業

野生動物管理

石川県立大学
金沢工業大学

地元企業・旅館・飲食店

他地域の
ジビエ関係者

取組の成果

- なめこの売上：約90万円（H30）→ 約3,600万円（R4）
- 羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全
- 山立会食堂の売上：約570万円（R3）→ 約750万円（R4）

ウェブサイト▶<https://yamadachi.com/>

地域資源：農林水産物、間伐材、空き家

事業分野：食品、観光・旅行、教育、エネルギー

事業主体：協議会、森林組合、大学

○「伊自良の里振興協会」を中核として、NPO法人、農業法人、生産組合、女性グループ、青年団(地区外の若者が中心)等を構成員として協議会を設立。自然や食の活用や、都市との交流推進など様々な活動を展開。

基本情報

- 所在地：福井県福井市
- 選定表彰：
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞(R3)
- 主力商品：
 - ・河内赤かぶら
 - ・酒米
 - ・伊自良温泉
- 活用した支援施策：
 - ・都市農村共生・対流総合対策交付金
 - ・農山漁村振興交付金 など

取組の概要

- 農業ボランティアの受け入れによる伝統野菜の「河内赤かぶら」の栽培や地域の農業法人による酒米栽培を通じて、耕地の維持を実現。
- 女性グループ「上味みママーズ」をはじめとした地域の住民が「河内赤かぶら」の加工品を伝統的なレシピで製造、販売し、食文化の継承に貢献。
- 「上味みママーズ」が農家レストランを開設し、地域食材を利用した伝承料理を提供。
- 福井市内の酒造会社と連携し、酒米の契約栽培を実施。
- 伊自良温泉の加温に間伐材を活用し、適切な育林と地域活動を両立。
- 空き家を地域資源とし、外部人材向け居住環境や宿泊施設に有効活用。



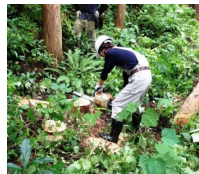
河内赤かぶら



上味みママーズ



農家レストランの料理



若者による間伐作業

体制図

中核団体：（一社）伊自良の里振興協会

自然体験・農家体験

NPO法人、農業法人、生産組合、個人農家等

農家民宿

個人農家

農家レストラン

女性グループ

温泉

山郷コンシェルジュ

地域活性（イベント開催、伝統野菜生産、農地集積・管理）

青年団、女性グループ、自治会、生産組合、農業法人、個人農家

地域活動支援

県、市、JA

取組の成果

- 移住者：27名（10年間）
- 耕地の維持、食文化の継承
- 農家レストランの開設
- 酒米の契約栽培：15.7t（R2）
- 間伐材の温泉ボイラーへの活用

ウェブサイト▶<https://www.ijira.jp/>

この情報は令和5年3月時点のものです

30

特定非営利活動法人 ピアファーム

地域資源：農林水産物
事業分野：食品・観光・旅行・福祉
事業主体：就労支援事業所、農林漁業者

- 後継者のいない農園等を引き継ぎ、観光農園の開設や果実加工品の製造・販売を通して地域の魅力向上に貢献。
- 農業の担い手不足を障がい者の就業で解消し、手作業の多い有機・減農薬栽培による農産物の高付加価値化を実現。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 選定表彰：
 - ・ノウフクアワード優秀賞（R2）
 - ・第4回ディスカバー農山漁村の宝選定（H29）
- 主力商品・イベント：
 - ・なし、ぶどう、果実加工品
 - ・観光農園での果実の摘み取り体験
 - ・市内外の農業者180戸が出荷する直売所
 - ・なしジュースやぶどう醸造に着手する
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金ソフト事業（農福連携対策・施設外就労コーディネーター養成）

取組の概要

- 農業に特化した就労支援B型事業所として、創設以来後継者のいない梨農園を引き継ぎ、周辺の耕作放棄地を再生し農地を集約。
- 約30名の障がい者の就労を支え、働きやすい作業工程による有機・減農薬栽培で、農産物の高付加価値化を実現。
- 1年を通して様々な果樹・野菜を生産。また、果樹加工品の製造・販売や農産物直売所の運営、観光農園の開設により、障がい者に安定した働く場と高賃金を創出。
- 地域と協力・連携した農業を行うことで、地産地消と地域のにぎわい創出のほか地域の農業の担い手としても貢献。



農直市場ピアファーム

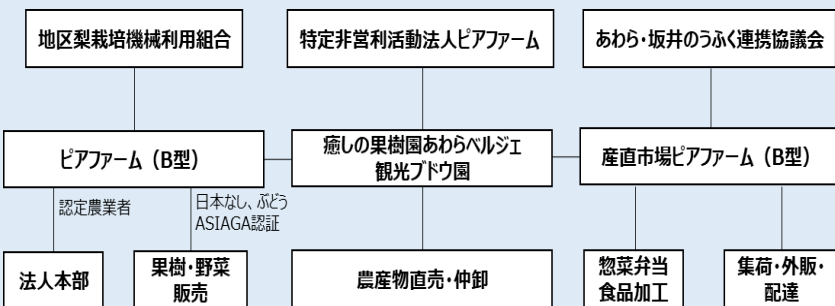


6次化商品のなしジュース



なしの収穫作業

体制図



取組の成果

- 農産物の売上：約1,600万円（H24）→ 約4,000万円（R3）
- 観光農園への来客者数：約4,400人（R3）
- 平均工賃：約4～4.5万円/月
（R3年度就労継続支援B型全国平均工賃月額約1.6万円/月）
- 福井県内初となるASIAGAP認証の取得（対象品目：日本なし、ぶどう）

ウェブサイト▶<http://www.peerfarm.jp>

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物、酒蔵、日本酒文化

事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント

事業主体：宿泊施設、食事施設、体験施設、生産者、酒蔵

- 酒蔵に蔵人として宿泊滞在し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテル®を開設し、インバウンドを誘致。
- 佐久地域の新たな冬のキラコンテンツとして、日本酒文化の神秘性、繊細な製造プロセスの魅力を国内外に発信。

基本情報

- 所在地：長野県佐久市
- 選定表彰：
 - ・「食かけるプロジェクト」2020食かける賞
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
 - ・SAVOR JAPAN認定(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・酒蔵ホテル®
 - ・日本酒造り体験（2泊3日/ 10月～3月）
 - ・麴造り体験（1泊2日/ 4月～9月）
- 活用した支援施策：
 - ・令和元年度 農山漁村振興交付金（農泊推進事業、人材活用事業）

取組の概要

- 非観光地である佐久地域への来訪、宿泊滞在を促すため、蔵人体験プログラムは1泊2日または2泊3日にて実施。泊食分離で地域経済の活性化に貢献。
- 蔵人体験は英語同時通訳にて実施、ウェブサイト、セミナー資料等も全て英語併記。
- 酒蔵での本格的な蔵人体験（2泊3日）の提供に加え、酒蔵契約農家と連携して「酒米づくりからの酒造り、酒蔵レストラン運営」をテーマにした年間プログラムも体験コンテンツ化し、日本酒ツーリズムを6次産業化として捉え他地域との差別化に注力。



蔵人として本格的な酒造りを体験する参加者



築100年の蔵人の宿舎を宿泊施設にリフォームした「酒蔵ホテル」



周辺飲食店で実施している着地型旅行商品

体制図

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

中核法人

・橘倉酒造(株)
・(株)KURABITO STAY

宿泊部門

・佐久ホテル
・KURABITO STAY

食事部門

・お料理れもん
・ともせん手打処
・若松食堂
・ピックベン
・鳥忠食堂
・灯雲（焼き鳥）
・クロワサンス
・ウマバル

体験・交流部門

・地域内の酒蔵（日本酒セミナー、蔵見学）
・蔵元契約農家（酒米田植え体験）
・お料理れもん（寿司握り体験）
・ともせん手打処（そば打ち体験）
・ぬのや（着付け体験）

その他

・行政（広報支援）

取組の成果

- 蔵人体験人数：延320人（R4年度 ※R5.3月時点）
- 国内在住の外国籍の顧客（約1割）も含め、顧客満足度は高い（満足度100%）。R4年10月～インバウンド参加が増加、R5年2～3月はインバウンド比率50%達成。（世界16か国から）
- リピーターも多く、インバウンドリピーターも誕生している。

ウェブサイト▶<https://sakusake-tourism.com/>

稲倉の棚田保全委員会

地域資源：農林水産物、景観、文化

事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント

事業主体：農林漁業者、JA、企業、大学、地域おこし協力隊 他

- 「棚田米オーナー制度」のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開し、棚田の保全に加え、都市と農村の交流に取り組む。

基本情報

- 所在地：長野県上田市
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 天皇杯、農林水産大臣賞
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞
- 主力商品・イベント：
 - ・棚田米
 - ・体験観光事業
- 活用した支援施策：
 - ・県営中山間総合整備事業「殿城地区」
 - ・中山間地域等直接支払交付金
 - ・多面的機能支払交付金

取組の概要

- 減農薬栽培を行い、昔ながらの「はざかけ」でゆっくり天日干した棚田米を地元店舗や直売所等で販売するほか、上田市のふるさと納税の返礼品として提供。
- 棚田オーナー制度のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」や気軽に保全活動に参加できる「棚田ファン」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開。地元企業とのパートナーシップ協定も締結。
- 農閑期の棚田を有効活用した棚田キャンプやノルディックウォーキングイベントなど棚田の地形を生かしたイベントも開催、観光客を誘致。



棚田オーナーによる田植え

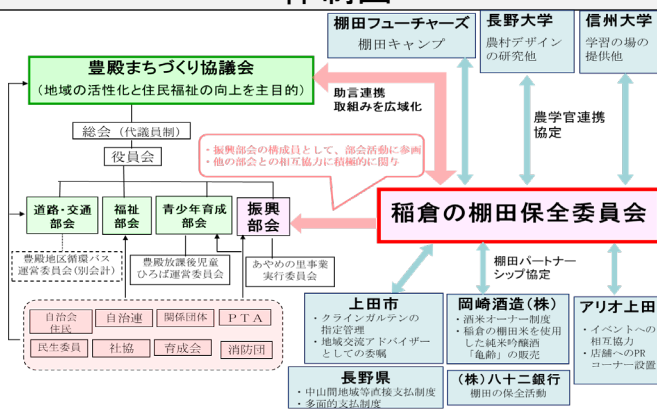


酒米オーナー制度



秋の田んぼでキャンプ風景

体制図



取組の成果

- 棚田米の販売額：300万円
- 棚田オーナー：70組（H29）→ 175組（R5）
- 棚田キャンプ参加者：31組（H29）→ 97組（R3）
- 棚田への観光客：年間2万人超

ウェブサイト▶<https://inaguranotanada.com/>

○長良川上中流域で盛んな鮎を中心とした内水面漁業と、鵜飼漁等の伝統的な漁法や鮎を使った郷土料理等を継承するため、関連商品の認定制度や「あゆパーク」を通じた普及啓発や情報発信に取り組む。清流の保全により、美濃和紙や郡上本染などの伝統工芸の継承にも貢献。

基本情報

- 所在地：岐阜県長良川上中流域（岐阜市、関市、美濃市、郡上市）
- 選定表彰等：世界農業遺産認定（H27.12認定）
- 主力商品・イベント：
 - ・人の生活、水環境、漁業資源が連環する里川のシステム「長良川システム」
 - ・清流長良川の恵みの逸品（鮎加工品等）
 - ・清流長良川あゆパーク
 - ・世界農業遺産「清流長良川の鮎」体感モデルツアー
- 活用した支援施策：
 - ・内閣府 地方創生交付金

取組の概要

- 世界農業遺産認定を地域振興に活かすため、「清流長良川の鮎」の普及啓発や保全・継承につながる農林水産物をはじめとした関連商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定する制度を創設。
- 「清流長良川あゆパーク」を世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信の拠点として活用し、川と魚に親しむ体験学習を通じて、鮎漁業など水産業の振興・発展を図る。
- 長良川システムへの理解を深めるため、世界農業遺産「清流長良川の鮎」体感モデルツアーを実施。



伝統的な漁法「鵜飼」

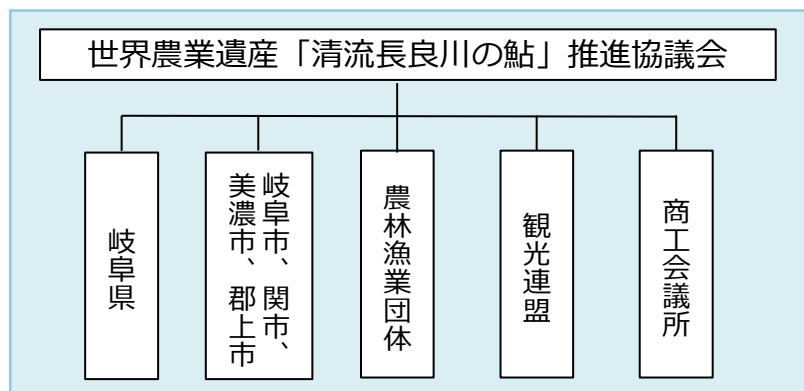


清流長良川あゆパーク



体感モデルツアー

体制図



取組の成果

- 清流長良川の恵みの逸品認定商品数：55商品（R4.7）
- 清流長良川あゆパーク来場者数：69万人（R5.2）
- モデルツアー参加者：65人（R3.11）

地域資源：農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、福祉

事業主体：加工事業者、宿泊事業者、農林漁業者、NPO法人ほか

○飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」を農家、福祉事業所に呼びかけて栽培し、実から搾油した「えごま油」を通販等で受注生産。高山市の「飛騨高山あぶらえ研究会」と連携して生産拡大と地域の所得向上に貢献。

基本情報

- 所在地：岐阜県高山市
- 選定表彰等：
 - ・「ぎふ女のすぐれもの」(R4認定)
 - ・ディスカバー農山漁村（むら）の宝東海農政局選定（第6回）(R1)
 - ・メイド・バイ飛騨高山認証（H30）
 - ・「飛騨・美濃すぐれもの」（H29認定）
 - ・総合化事業計画（H29.2認定）
- 主力商品・イベント：
 - ・飛騨生搾りえごま油
 - ・飛騨えごまパウダーセット
 - ・民宿（自社経営）での料理提供
- 活用した支援施策：
 - ・H29、30ものづくり補助金

取組の概要

- 飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」の栄養分と寒冷高地でも栽培でき獣害を受けにくいという利点に着目し、平成27年に4aの畑で栽培開始。
- 平成21年設立の「飛騨高山あぶらえ研究会」と地域の福祉事業所を中心に栽培面積が拡大、現在、飛騨地域の農家等約100人から買い取り。
- 農家と障害者の収入源として取組を促進することで耕作放棄地の解消に寄与。
- 事業当初はえごまの実を販売していたが、平成29年から低温圧搾した「えごま油」を販売。その後、搾り粕を使用したパウダー等の加工商品を開発。通販を中心に自社ECサイト等で全国的に珍しい受注生産での「生搾りえごま油」を販売。



えごま畑の景観

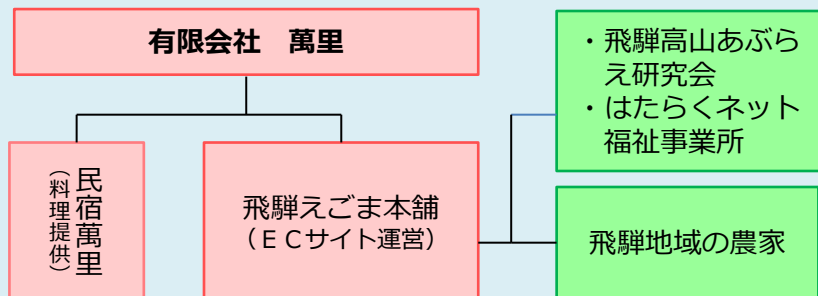


えごまの6次化商品



搾油作業風景

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：27.5万円（H27）→ 3,000万円（R4）
- 買取農家数：4人（H27）→ 102人（R4）
- 買取数量：0.05 t（H27）→ 2.8 t（R4）

ウェブサイト▶飛騨えごま本舗 <https://hidaegoma.jp/>
 民宿萬里 <https://banri.com/>

- 道の駅内に加工施設を設けて、農産物の加工・製造・販売と農業者の商品開発を支援。
- 地域の食・食文化、農林水産業及び再生エネルギー施設等をめぐるSDGsを絡めたツアー等を企画・運営。

基本情報

- 所在地：愛知県田原市
- 選定表彰等：
 - ・SAVOR JAPAN認定（R4）
 - ・農商工等連携事業計画認定（R3）
 - ・第二種旅行業取得（H30）
 - ・外国人観光案内所カテゴリーⅠ認定（H30）
- 主力商品・イベント：
 - ・SDGsを学ぶ花育プログラム1 Dayバスツアー 等
 - ・農産物や6次化商品等の販売（道の駅）
- 活用した支援施策：
 - ・地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（R4観光庁）
 - ・地域文化財総合活用推進事業（R4文化庁）
 - ・地域の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業（R3観光庁）

取組の概要

- 平成4年に商工会、JA、漁協の出資により(株)田原観光情報サービスセンターを設立。
- 平成5年に道の駅田原めっくんはうす（農産物直売所等）の指定管理を受託。
- 平成30年に道の駅田原めっくんはうす内に加工施設「めっくんもぐもぐ工房」を新設し、地域資源を活用したオリジナル商品を開発・販売。テストキッチンとしても機能。
- 令和3年度農商工等連携事業計画認定。地域の食・食文化、農林水産業及び再生エネルギー施設等をめぐる観光ツアーや、SDGsを絡めたツアーを企画・運営。



道の駅田原めっくんはうす



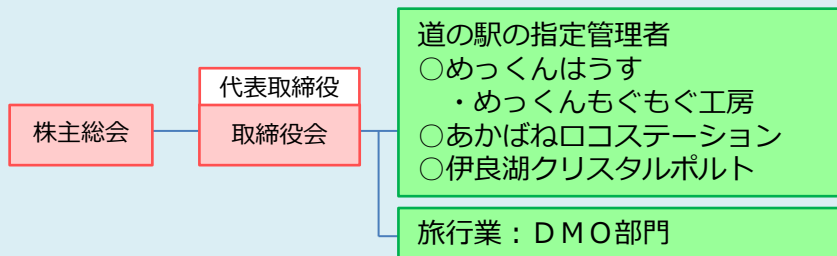
加工施設
「めっくんもぐもぐ工房」



加工施設で商品開発した
ドレッシング

体制図

株式会社田原観光情報サービスセンター



取組の成果

- 道の駅めっくんはうすにおける農産物、6次化商品等の売上：

9.2億円（H30） → 9.6億円（R3）
- 農業者からの商品開発支援の委託受注数：

H31以降、毎年60～70品を受注
- 農業者の商品開発支援による製品の売上：

484.0万円（H31） → 1,314.1万円（R3）

ウェブサイト▶ <https://tahara-michinoeki.com/>

○京都府北部・丹後半島の東南部に位置し、「にほんの里100選」にも選ばれた11世帯23人が暮らす小さな集落で、人口の7割を超す移住者が中心となって「上世屋の暮らし」の継承に取り組む。

基本情報

- 所在地：京都府宮津市
- 選定表彰：
 - ・ R1近畿ディスカバー農山漁村の宝選定
 - ・ つなぐ棚田遺産選定
- イベント：
 - ・ 村人になるインターン
 - ・ オンラインご飯会、上世屋キッチン
 - ・ 上世屋市（いち）、田んぼの生きもの調査
- 主力商品：
 - ・ 景観（棚田、里山）
 - ・ 農林産物（米、野菜）、加工品
 - ・ ジビエ、クラフトビール
 - ・ 伝統工芸品（藤織り、和紙）
- 活用した支援施策：
 - ・ 農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流及び地域活性化対策）（H28）

取組の概要

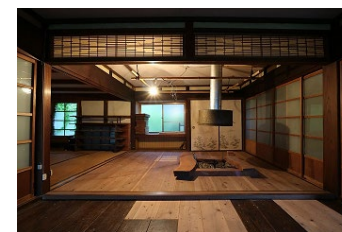
- 若手世代は全員が協議会の活動に参画。
- 空家を改修した「セヤハウス」を拠点とした移住体験「村人になるインターン」（短期～1か月以上）の受入れや「暮らし」に不可欠な収支情報をHPに掲載し、定住に向けての確かなイメージを提供。
- 暮らしを支える生業（なりわい）を創出するため、ジビエ処理施設なども建設。新商品の開発やECサイトで販路も開拓しつつ、上世屋産の魅力をイベントなどで発信。
- 「上世屋の暮らしの継承」に賛同する移住者に向け、現地や都市部でイベントを開催。



村びとたち



生業を生み出す棚田



セヤハウスの内部

体制図

上世屋定住促進協議会

事業統括

空家や空き
農地の活用、
調整

生業創出
（農業や狩
猟など）

生業創出
（加工、販
売など）

情報発信

取組の成果

- 取組開始から増加した若手移住者：3人（R4.12月現在）
- 交流人口：93人（H28）→ 310人（R4.12月現在）
セヤハウス利用100人、オンラインご飯会40人、上世屋キッチン40人、上世屋市100人、田んぼの生きもの調査30人
- 村人になるインターン：延べ100人（R4.12月現在）
H30:21人、R1:18人、R2:28人、R4:33人

ウェブサイト ▶ <https://kamiseya.com/>

地域資源：農林水産物、景観、日本茶文化

事業分野：食品、観光・旅行、教育、情報通信、イベント

事業主体：町、生産者、茶畑オーナー、国際日本茶協会

- 宇治茶生産地にて日本茶の通信販売・輸出するほか、茶畑オーナー制度によりファンを創出。インバウンド向け茶畑ツアーやオンライン教育にも取り組み、国内外に関係人口を創出。

基本情報

- 所在地：京都府和束町
- 選定表彰：
 - ・「食かけるプロジェクト2020」食かける賞
 - ・第50回日本農業賞特別賞（R2）
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・お茶
 - ・茶畑ツーリズム
- 活用した支援施策：
 - ・事業再構築補助金（R3：経済産業省）
 - ・JAPANブランド育成支援事業（R4：経済産業省）

取組の概要

- 平成20年から日本茶の輸出に取り組み、世界116か国に茶葉を直送可能な体制を確立するとともに、年4回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」の取組を実施。
- 茶産地を日本茶文化の体験型観光地として発展。平成24年からインバウンド需要に応え、外国人スタッフを雇用し多言語化も実現。
- 世界中どこからでも茶農家から直接日本茶について学べるオンラインプログラム「Online Tea Education」を令和3年から開始。Withコロナ時代に発達したオンライン教育部門にも参入し、新たな日本茶のビジネスを展開。



オンライン茶摘みイベント



インバウンド茶畑ツアー



Online Tea Educationの様子

体制図



取組の成果

- 輸出額の増加：900万円（H27）→ 2,500万円（R2）
→ 4,500万円（R3）
- ティーツアー参加者の増加：761人（H27）→ 1,590人（R1）
→ 150人（R3）→ 2,000人超（R4見込み）
- 茶畑オーナー：720名（R3）

ウェブサイト▶<https://www.obubu.com/>

- 聴覚障害者やひきこもり状態にあった者等が、宇治茶の手摘みやエビイモの手掘りなど高品質な京都の伝統野菜の生産・加工に通年で従事し、農福連携の普及啓発に取り組む。

基本情報

- 所在地：京都府京田辺市
- 選定表彰：
 - ・あしたのまち・くらしづくり活動賞（R4）
 - ・ノウフク・アワード グランプリ（R3）
 - ・グッドライフアワード環境大臣賞（R2）
 - ・第6回ディスカバー農山漁村の宝（R1）
- 主力商品・イベント：
 - ・宇治抹茶、京都エビイモ、京都田辺ナス、万願寺トウガラシ、京花菜、鷹の爪
 - ・宇治抹茶の加工品、京野菜の加工品
- 活用した支援施策：
 - ・京都式農福連携補助金事業（H29～）
 - ・京都府女性活躍応援事業（R3, 4）
 - ・京もの食品需要拡大応援事業補助金（R4）

取組の概要

- 宇治茶の手摘みやエビイモの手掘りなど、高品質な京都の伝統野菜等を生産するとともに、これらを活用し付加価値の高い加工品の開発、販売も行う。
- 併設のコミュニティカフェでは、メニュー作りから接客、調理まで障害者が中心となり行う。
- 令和元年にノウフクJAS（第1号）認証の取得。その後、京都中央仲卸市場や東京大田市場の仲卸業者と取引が始まり、ミシュラン2つ星の京懐石店や高級ホテルの名店に食材を卸すなど販路が拡大。JGAP認証も取得し、持続可能な農業を推進。
- 取引先の企業や料理人と連携し、児童養護施設の入所児童を対象に「さんさん食育プロジェクト」を展開。



田辺ナスの収穫作業

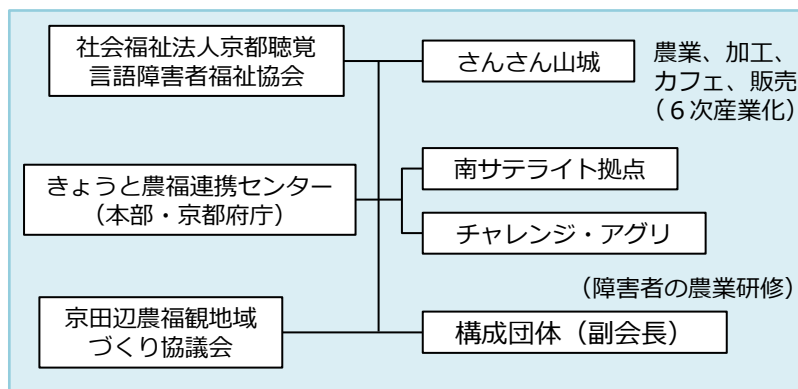


宇治茶の手摘み作業



さんさん山城コミュニティカフェ

体制図



取組の成果

- 野菜、加工品、コミュニティカフェ等の売上：

570万円（H26）→1,710万円（R3）
- さんさん山城を利用する障害者の年間のべ人数：

3,486人（H26）→5,742人（R3）

ウェブサイト

▶ <https://www.kyoto-chogen.or.jp/communityplaza/sunsunyamashiro/>

○地域内に230軒立ち並ぶ舟屋を活用した宿泊施設と食事施設を整備。宿泊と食事を別施設で提供する「泊食分離」の実現によって宿泊施設の開業を促進。

基本情報

- 所在地：京都府伊根町
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）ビジネス・イノベーション部門優秀賞
 - ・第13回観光庁長官表彰（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・舟屋を活用した農泊
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 平成30年に協議会を設立し、宿泊施設や飲食店などの観光関連施設だけでなく、生産者や金融機関など多分野の事業者と連携し、農泊を推進。
- 生活の一部を切り取った体験として、個人宅での小さな漁業「もんどり」体験や漁具づくり体験、刺身づくり体験などを提供。海と寄り添った暮らしの中に息づく持続可能な日常を通じて、海の豊かさや魚介類の品質の良さを味わうことができる滞在型観光を推進。



伊根湾の「舟屋」

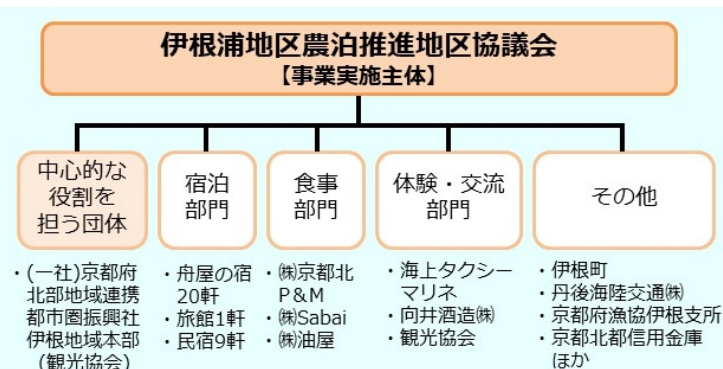


舟屋を改修した宿泊施設



小さなかご網漁「もんどり」体験

体制図



取組の成果

- 宿泊施設の売上：約8千万円（H29）→ 約1.9億円（R4）
- 宿泊施設数：15軒（H29）→ 30軒（R4）
- のべ宿泊数：約6千人（H29）→ 約1万3千人（R4）

ウェブサイト▶ <https://www.ine-kankou.jp/first>

地域資源：農林水産物、木材、景観
 事業分野：食品、観光・旅行、情報通信、アウトドア
 事業主体：村、飲食事業者、観光事業者

- 森林を活用したアウトドア施設「空中の村」の管理、運営を行い、地元産食材を使用した弁当の提供なども展開。村の新たなツーリズムの拠点施設として、誘客を促進。

基本情報

- 所在地：奈良県十津川村
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
 - ・ にっぽんの宝物 Japan大会 2020/2021 Visit Japan部門 準グランプリ
 - ・ 第5回「はなやかKANSAI魅力アップワード」モデル性部門（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・ 森林アウトドア施設
 - ・ 地元産食材を使った弁当
- 活用した支援施策：
 - ・ 森林環境譲与税
 - ・ もっと良くなる奈良県市町村応援補助金

取組の概要

- フランス国籍の元地域おこし協力隊員が、地域の森林を活かし、アート×アスレチック×憩いの場を融合させたアウトドア施設を整備。
- アスレチックだけではなく、施設内で地元産食材を使った弁当や有機ドリンクを提供するほか、読書や昼寝もできる憩いの場を提供。
- ワークেশョンの受入環境の整備を実施。



十津川産材を使用した
ツリーハウス製作



ぐねぐね橋



森林内で憩いの場を提供

体制図



取組の成果

- 来園者数の増加：3,730人（R1）→ 約5,200人（R3）
- 施設内のベンチや遊具等には十津川産材をふんだんに使用し、施設内で提供される弁当には地元の食材を使用するなど、村内の資源を有効活用。

ウェブサイト▶ <https://kuuchuu-no-mura.com/>

地域資源：農林水産物、ジビエ

事業分野：食品、観光・旅行、教育、情報通信

事業主体：農林漁業者、ジビエ処理施設、レストラン

○鳥獣害をはじめとした地域課題に立ち向かうため、若手農家が自ら会社を立ち上げ、農業生産を中心に、新商品開発、農作業受託、狩猟活動を実施。ジビエ処理施設やレストランとも協業し、狩猟・ジビエを活用し地域を活性化。

基本情報

- 所在地：和歌山県田辺市
- 選定表彰：
 - ・鳥獣害対策優良活動表彰 農林水産大臣賞 (R4)
 - ・第8回ディスカバー農山漁村の宝 (R3)
 - ・第52回日本農業賞 食の架け橋部門特別賞 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・ジビエ、みかんや梅の加工品
 - ・狩猟、収穫体験ツアー

取組の概要

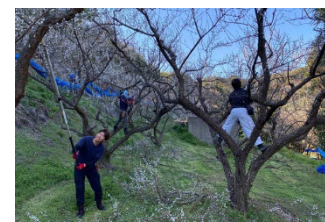
- 地域内のジビエ解体処理施設やジビエ料理店との連携により、捕獲から処理・加工、調理、販売の連続した体制を構築。
- 衛生管理ガイドラインの遵守等に取り組むジビエ処理施設に与えられる「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得しているほか、個体の引き取りに関するガイドラインを作成し、ジビエの品質維持に努める。
- ICT技術の導入による捕獲活動の効率化、小中学生向けにジビエへの理解を深める食育活動を進めるほか、耕作放棄地を果樹園に再生することにより鳥獣被害の軽減にも貢献。



狩猟体験事業



ジビエを活用したドッグフード



農作業の受託

体制図



取組の成果

- 売上：500万円（創業当初） → 3,800万円（R4）
- 雇用：5名（創業当初） → 12名（R4）
- 交流人口：50人（創業当初） → 400人（R1）
- ジビエ利活用頭数：0頭（H29） → 600頭（R3）

ウェブサイト ▶ <https://team-hinata.com/>

○400年にわたり高品質な梅を持続的に生産するみなべ・田辺地域は、薪炭林（ウバメガシなどの広葉樹）による水源涵養^{かんよう}や崩落防止等の機能保持、ニホンミツバチの生息環境の提供、高品質な「紀州備長炭」の生産への寄与により、「世界農業遺産」に認定。ワーケーションと結び付けることで、梅収穫期の労働者確保と交流人口の増加を実現。

基本情報

- 所在地：和歌山県みなべ町、田辺市
- 選定表彰：
 - ・平成27年12月世界農業遺産認定
- 主力商品・イベント：
 - ・南高梅、紀州備長炭
 - ・梅まつり・観梅（2月）
 - ・梅収穫ワーケーション（5～7月）
- 活用した支援施策：
 - ・みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会
運営活動費 地方創生推進交付金（内閣府）

取組の概要

- 「農業遺産」と「ワーケーション」を結びつけた「梅収穫ワーケーション」をみなべ町にて実施※1 ※2。
- 梅収穫時期に都市部からワーケターを募り※3、仕事の合間に梅農家の作業を手伝ってもらうことで、農家の作業負担が軽減されるとともに、都市部の人々との新たな交流にも貢献。
- SNS上でワーケーションの周知、応募フォームの掲載、参加者への説明会・意見交換会を実施。ワーケターの滞在期間及び作業時間に合わせて梅農家とマッチング。

※1 運営主体：R4年度 Team WAAI、
R5年度（一社）日本ウェルビーイング推進協議会 世界農業遺産活性化プロジェクト

※2 旅費・宿泊費などは参加者負担

※3 R4年度は1か月間（6月）、R5年度は3か月間（5～7月）

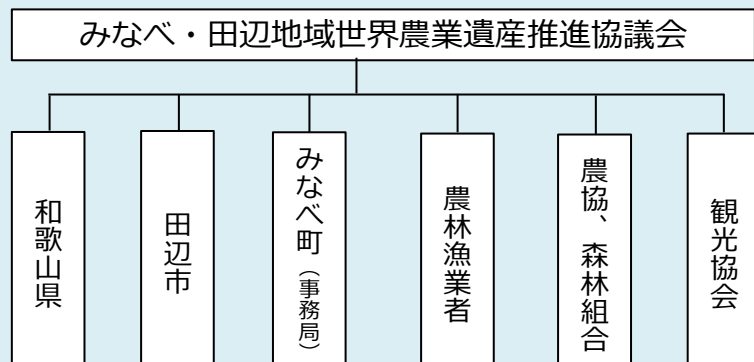


南高梅



梅収穫ワーケーション

体制図



取組の成果

- ワーケーション参加人数：のべ240人、11軒の農家が受け入れ（R4）
- 梅収穫の総活動時間：1,356時間
（時給1,500円換算で約200万円の人件費削減）
- 梅収穫ワーケーションから学ぶ講演会を開催
- ワーケーション開催期間の拡大：1か月（6月）（R4）→3か月（5～7月）（R5）

ウェブサイト▶<https://www.giahs-minabetanabe.jp/>

一般財団法人 境港市農業公社

地域資源：和綿「伯州綿」、栽培サポーター
事業分野：地域活性化、加工・販売 ほか
事業主体：市、市農業公社

- 遊休農地解消対策として、栽培サポーター（住民ボランティア）制度を導入し、伝統的地域資源（伯州綿）を栽培。
- 収穫した伯州綿を新生児や高齢者向けの製品に加工、市のお祝品とするとともに、体験学習やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：鳥取県境港市
- 選定表彰：
 - ・第27回「ふるさとイベント大賞」ふるさとキラリ賞（R5）『てぬぐいひらひら』
- 主力商品・イベント：
 - ・新生児向け「伯州綿おくるみ」
 - ・高齢者向け「伯州綿ひざかけ」
 - ・「境港手拭」
 - ・「てぬぐいひらひら」（毎年秋イベント）
 - ・親子を対象とした種まき体験、収穫体験
- 活用した支援施策：
 - ・国の緊急雇用創出事業（H21～H26）

取組の概要

- 遊休農地解消にむけ伝統的地域資源である和綿「伯州綿」の継承のため栽培を再開し、地元住民による栽培サポーター制度を導入。
- 収穫した綿を加工して商品開発。「おくるみ」「ひざかけ」は市に販売し、新生児や高齢者へのお祝い品として活用。
- 小学生の体験学習、てぬぐいイベントや収穫体験等を開催し、認知度向上と交流人口の増加につなげている。



伯州綿種まき参加者

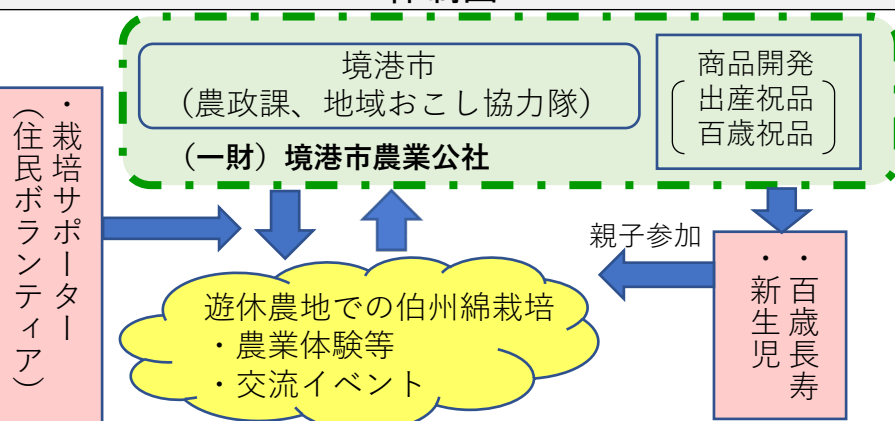


「てぬぐいひらひら」の会場



伯州綿100%のおくるみ

体制図



取組の成果

- 伯州綿栽培面積：1.2ha、収量：約750kg（R4）
- 栽培サポーター：46組136人（R4）
- 境港市の地域おこし協力隊が卒業後に1名定住
- 毎年秋のイベント（てぬぐいひらひら）には1000人以上の来場者。
- 複数の民間企業による商品開発や販路開拓によるブランド化

ウェブサイト▶<http://hakushu-cotton-sakaiminato.jp/>

- 中山間地域の農作業・農地保全・祭り補助などに大学生ボランティアを20年以上継続して派遣。
- 大学生が主軸となった、数々の地域活性化プロジェクトを実施し、起業・就農・定住に向けた支援に取り組む。

基本情報

- 所在地：鳥取県鳥取市
- 選定表彰：
 - ・オーライ！ニッポン大賞（H20）
 - ・食と農林漁業大学生アワード農林水産大臣賞（H28、H30、R2）
 - ・ディスカバー農山漁村の宝（第9回）特別賞
 - ・ふるさとづくり大賞（R4）団体賞
- 主な取組み：
 - ・田舎戦隊三徳レンジャー（米の生産販売）
 - ・農村16キップ（農山村ボランティア派遣）
 - ・鳥取シゴト留学（外部人材活用）など
- 連携した施策：
 - ・鳥取県農山村ボランティア事務局事業

取組の概要

- 鳥取大学農学部生を中心とした大学生農業ボランティアを平成14年以降継続して派遣。
- 地域活動のプロジェクトとして、「農村16きっぷ」（ボランティア、交流企画、製品の加工販売）、「田舎戦隊三徳レンジャー」（米の生産販売）など運営。
- 銀行と業務提携した地域おこし協力隊体制整備
- 複業人材や大学生インターンシップなど民間企業とのプロジェクトへ展開



草刈り作業の様子

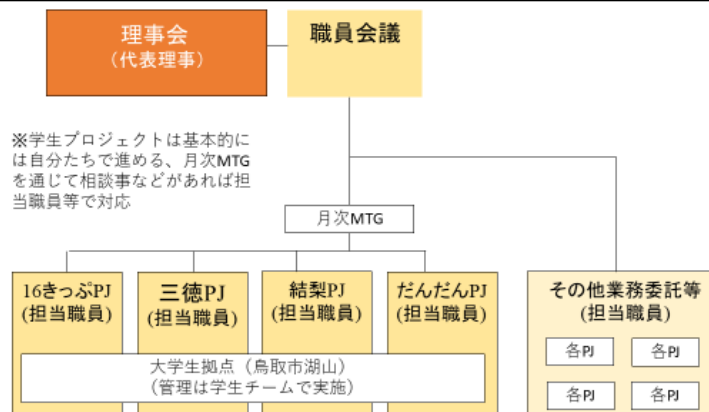


いのしし電気柵の設置



地域住民との交流

体制図



取組の成果

- 農村ボランティア派遣回数：77回（R3）
- 農村ボランティア派遣人数：408人（R3）
 - ※令和2年度よりコロナ対応で受入地域減少
- Iターン者：延べ人数41人（経験者のうち鳥取に残った県外者の数）
- 就農している卒業生：9人（うち2名は農業委員を務める）

ウェブサイト▶<https://www.bankup.jp/>

- 障害者就労継続支援事業所による引退競走馬を利用した観光牧場を設立。流鏝馬神事など地域の伝統行事も継承。
- 馬糞堆肥を活用した循環型農業を実施し、様々な障害者の仕事作りや地産地消を推進。

基本情報

- 所在地：島根県益田市
- 選定表彰：
 - ・ノウフクアワード2021 チャレンジ賞
 - ・中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定地区（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・引退競走馬を活用した観光牧場・馬事文化継承
 - ・馬糞堆肥を活用した農産品及び加工品
- 活用した支援施策：
 - ・公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会「多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業」（H30～）
 - ・令和3年益田市商品開発・販路開拓等支援事業補助金

取組の概要

- 老朽化により存続が困難になっていた市営馬事公苑を再興し、障害者の就労、競走引退馬のキャリアを活かす観光牧場を設立。
- 競走引退馬を4頭飼養し、来客者のセラピーの役割や流鏝馬神事など地域の馬事文化の継承、日本遺産観光プログラム等の活動に参加。
- 飼育馬の馬糞堆肥を活用し、循環型農業による「農・商・福連携事業」を推進。



親子連れで賑わう観光牧場

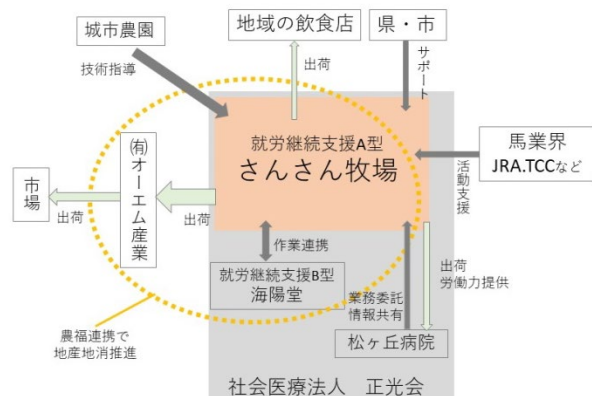


伝統の継承に貢献



馬糞堆肥を活用した農業

体制図



取組の成果

- 売上高：104万円（H30）→2,337万円（R3）
- 障害者雇用：5人（H30）→17人（R3）
- 来客数：550人（H30）→13,280人（R3）
- 馬頭数：5頭（H30）→10頭（R3）

ウェブサイト▶<https://sansanfarm.jp>

株式会社 エーゼログループ

地域資源：森林、ジビエ、うなぎ、多様な人材
事業分野：農林水産業、移住・起業支援、福祉
事業主体：総合地域商社、起業家、地方自治体

- 「未来の里山づくり」をテーマとする地域総合商社として、起業人材の育成、森林ブランド等の農林水産物販売、福祉事業を展開。
- 地域メディア「Through Me」「西栗倉アプリ村民票」「西栗倉村と暮らすふるさと納税特設サイト」の運営を通じて関係人口を創出。

基本情報

- 所在地：岡山県西栗倉村
- 選定表彰：
 - ・平成26年地域再生大賞 準大賞（森の学校）
 - ・平成27年第1回ウッドデザイン賞最優秀賞（農林水産大臣賞）（森の学校）
 - ・令和3年ふるさとづくり大賞 団体表彰（総務大臣表彰）（エーゼロ）
- 主力商品・イベント：
 - ・ユカハリタイルなど木材加工製品等
 - ・起業プログラム（TAKIBI等）
 - ・地域おこし協力隊研修等
 - ・森のうなぎ、森のジビエ、いちごなど
- 活用した支援施策：
 - ・地方創生推進交付金（内閣府）
 - ・農林水産業みらい基金
 - ・事業再構築補助金（中小企業庁）

取組の概要

- 2009年に地域が主体的に森林等の地域資源の活用と、地域のお客様づくりに取り組むために、西栗倉村民や西栗倉村役場が株主となり設立された「株式会社西栗倉・森の学校」と、2015年に人や自然の本来の価値を引き出し、地域経済を醸していくことを目的に設立された「エーゼロ株式会社」この2社が合併し2023年に生まれたのが「株式会社エーゼログループ」。現在は、北海道厚真町、滋賀県高島市においても事業展開。
- 経済資本事業：ローカルインキュベーション事業、移住・起業支援関連事業
- 社会関係資本事業：関係人口創出事業、ふるさと納税業務、アプリ村民票※1、情報サイトの運営
福祉事業（障害者就労支援、高齢者（介護）福祉事業）、建築・不動産事業
- 自然資本事業：苺農園、うなぎ養殖、ジビエ肉加工、蜂蜜などの生産・加工・販売、レストラン事業、木材加工流通事業



アプリ村民票

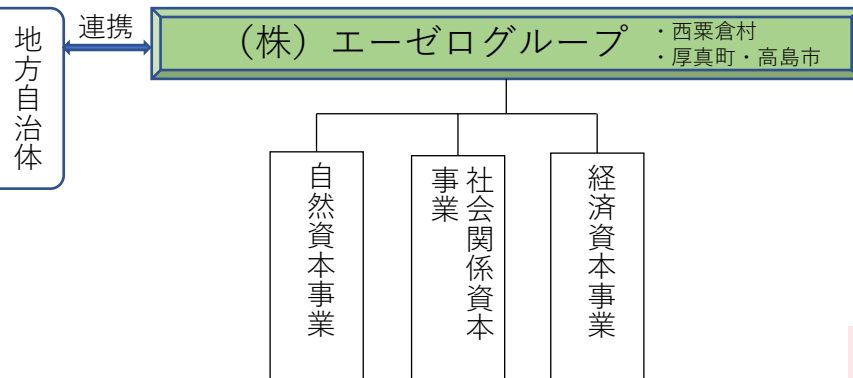


西栗倉ローカルベンチャースクール



苺生産

体制図



取組の成果

- 従業員数：115人(社員61人、パートスタッフ54人)※役員除く
- 売上：約10億円
- 起業家数：全体約50件（うちローカルベンチャー支援関連 15件）
- 移住者人口：約200名（R4.12月）

※1 西栗倉村の情報（起業、観光、仕事など）を受けられ、どこにいても村に関われるアプリ。村の施設訪問やイベントに参加すれば特典を得られるポイント付与。西栗倉村役場からこのアプリの開発と運営を受託している。

ウェブサイト ▶ <https://www.a-zero.co.jp/>

株式会社 瀬戸内ジャムズガーデン

地域資源：農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、教育

事業主体：地元企業、生産者、観光事業者、教育機関

○連携農家等の栽培果実類をジャム・リキュールに加工し、スイーツを販売するカフェの観光スポット化など、6次産業化や観光資源創出を実践。地域内外の多様な組織や事業体と連携し、移住者支援や魅力の発信を行う等地域に貢献。

基本情報

- 所在地：山口県大島郡周防大島町
- 選定表彰等：
 - ・農林水産祭「多角化経営部門」日本農林漁業振興会会長賞（R3）
 - ・第50回日本農業賞「食の架け橋部門」大賞（R2）
 - ・「ディスカバー農山漁村の宝」第5回選定（H30）
 - ・総合化事業計画認定（H25）
- 主力商品：
 - ・果物（柑橘、イチゴ、いちじく等）を使用したジャム、スイーツ等
- 活用した支援施策：
 - ・6次産業化ネットワーク活動交付金（H26）
 - ・経営継続補助金（R2）

取組の概要

- 契約農家から高価買取することで農家の所得向上に貢献しているほか、耕作放棄地を借りて自社農園で栽培。
- 年間180種類もの地域性豊かなジャムを生産するとともに、加工場に併設した直売施設やカフェで自社のジャムやスイーツを提供。
- 酒造免許を取得し、レモンチェッコ製造のため、特命農業部員（クラウドファンディング参加者）と共に柑橘畑の整備から実施。現在は農泊施設の建設を行っている。
- 移住希望者と地元企業等とのマッチングや、移住希望者向けツアー、高校・大学での講演やインターンシップ受入れなどを通じ、島に人を呼び込み域内で経済を循環させる持続可能な地域づくりを実施。



ジャム加工の様子

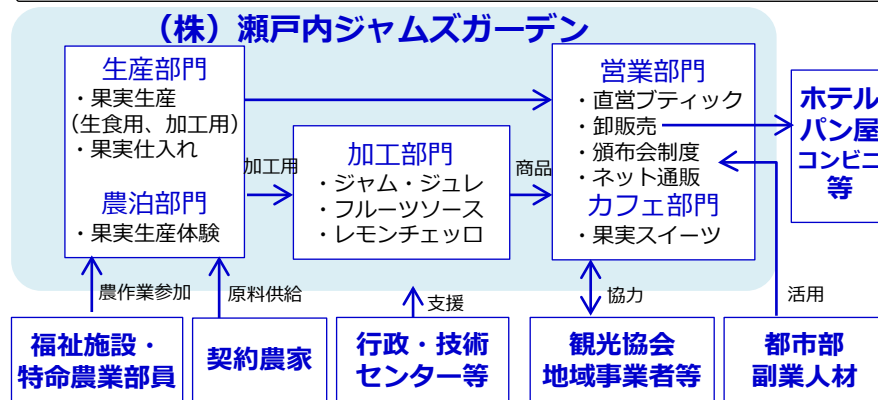


製造・販売している農産加工品



ガーデンテラスの景観

体制図



取組の成果

- 契約農家の所得向上（契約農家からの高価買取）
- 直営店来訪者数：8.5万人/年（2022年）
- 移住希望者向けツアー実施により移住者増加に貢献
- 特命農業部員制度により島との関係人口創出に貢献

ウェブサイト▶<https://www.jams-garden.com/>

家賀再生プロジェクト

地域資源：世界農業遺産、農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、福祉、芸術

事業主体：各種団体、農林漁業者、集落、学校、地元企業

○世界農業遺産認定の「にし阿波の傾斜地農耕システム」(茅農法)により藍を栽培。企業と連携し食用の用途も開発。

○地域の魅力を伝える観光ツアー実施、視察受入、農福連携の取組等で多くの団体と交流して地域を活性化。

基本情報

- 所在地：徳島県美馬郡つるぎ町
- 選定表彰：
 - ・とくしま集落再生表彰優秀賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・ソラの藍、食べる藍「藍粉（アイコ）」発酵晩茶
 - ・ツアー（エコ、農業体験）
 - ・農家レストラン
 - ・伝統行事、イベント
- 活用した支援施策：
 - ・徳島県集落再生加速化支援費補助金

取組の概要

- 傾斜畑で、世界農業遺産に認定されたカヤ・落葉などを用いる伝統的な自然循環型農法で農薬や化学肥料を使用しないため、藍を食用等の用途として利用の幅を広げる。
- 地域資源（茶、草木染、織物、薬草など）を活用しオリジナル商品を開発。
- 特に藍は、染色、食用、薬用として利用し、農業、観光、教育、福祉、SDGsなどの様々な分野の取組を実施。藍生産では、認知症の患者や家族会が栽培に参加したり、県内外産地とネットワークを形成。
- 傾斜地農耕システムによる価値創造を目指す食品企業と連携し地域内農地を活用。



「ソラ」と呼ばれる家賀集落



ソラの藍畑

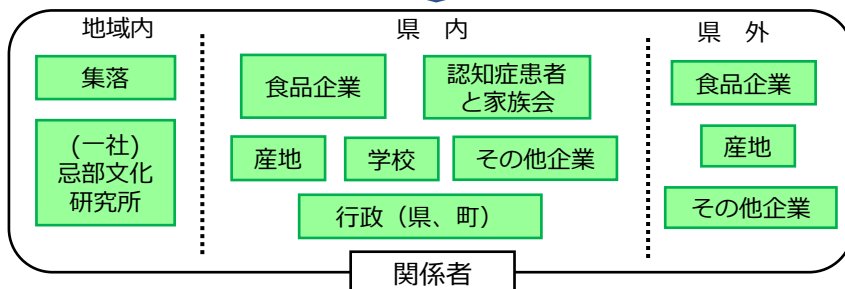


各地の大学生等と交流

体制図

家賀再生プロジェクト

連携  支援



取組の成果

- 藍(葉)の収穫量：800kg (R1) → 2,400kg (R4)
- ボランティア活動参加者がつるぎ町に2組移住し就農。
- 家賀ツアー勉強会(R1～)の参加者：毎年600～1,000人
- 藍粉とのジョイント商品の件数：H30～R4延べ34件(38品)

ウェブサイト▶https://peraichi.com/landing_pages/view/keka-playback-project/

小豆島町中山棚田協議会

地域資源：農林水産物、景観、文化
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：協議会、各地域団体、行政機関

○先人達が築き守り「日本の棚田百選」にも選ばれた美しい棚田と、棚田を中心に培われてきた文化・伝統を後世に残すため、協議会を設立。大学や企業と連携して、担い手の確保・農産物の販売・伝統行事への参加等を促進。

基本情報

- 所在地：香川県小豆島町
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞
 - ・「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・棚田の景観
 - ・棚田米とその加工食品
 - ・伝統文化（中山農村歌舞伎、虫送り）
- 活用した支援施策：
 - ・中山間地域等直接支払
 - ・多面的機能支払制度（ほか）

取組の概要

- 担い手育成のための「棚田アカデミー」を実施するほか、大学生による耕作ボランティアの受け入れ、棚田耕作体験の支援、地域おこし協力隊の採用により棚田保全に取り組む。
- 収穫した米は、地元小中学校の給食、ホテルで提供するとともに、棚田米をふるさと納税返礼品として採用。また、地元酒造会社と連携し、棚田米を原料とした日本酒を販売。
- 重要有形民俗文化財でもある舞台上演される「中山農村歌舞伎」を伝承。途絶えていた伝統行事「虫送り」を復活。現代アートによる「瀬戸内国際芸術祭」にも協力。



棚田耕作体験（稲刈り）



棚田米を原料とした日本酒



伝統行事「虫送り」

体制図



取組の成果

- 中山千枚田（約12ha）に占める荒廃農地の解消：
1.8ha(15%)（H24）⇒ 0.5ha(4%)（R3）
- 中山千枚田の担い手確保・保全のため「棚田アカデミー」を立ち上げ、1企業2個人が参加（R4）

ウェブサイト

▶ <https://www.town.shodoshima.lg.jp/gyousei/kakuka/norinsuisan/nougyou/5258.html>

○生産者グループが、くらしを中心とする地域協同組合を選択し、柑橘の有機栽培、漁業連携、基準に見合わない柑橘の有効活用など、加工品を含めたブランド化を推進。地域女性活躍や福祉事業等の多角化により雇用の場を創出。

基本情報

- 所在地：愛媛県西予市
- 選定表彰：
 - ・平成28年度農林水産祭/むらづくり部門で天皇杯授与
 - ・サステナブルコスメアワード2021ゴールド受賞/yaetoco（ヤエトコ）＊コスメ
 - ・令和3年度ふるさとづくり大賞総務大臣表彰
- 主力商品：
 - ・柑橘類等の農産物、ジュース等の加工食品
 - ・コスメ（yaetoco）、海産物、真珠
- 活用した支援施策：
 - ・果樹経営支援対策事業

取組の概要

- 地域の生産者グループとして創業し、国内有機農業の先駆けとして、柑橘類の栽培管理・販売システムの確立、加工品等のブランド化により生産者数・事業規模を拡大。
- 地域循環型一次産業モデルを目指し、漁業者と連携して、山と海的环境保全活動の実践、真珠や水産物等を加工・販売。
- 女性が活躍する配食サービスなどで雇用創出。地域住民が安心して暮らせる町づくりの一環として、福祉事業所を運営。
- 新規就農者の受け皿となる農業生産法人の設立、運営。若者が住みたくなる環境整備。



無茶々園の加工品

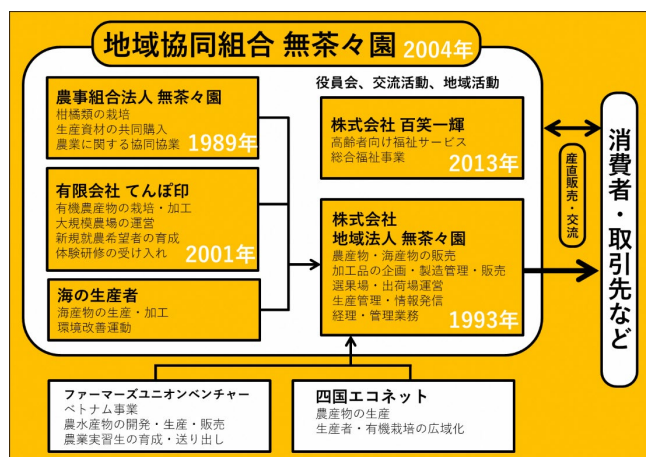


働きたい時間、働きたい場所を提供



新規就農者の生産法人・てんぽ印

体制図



取組の成果

- グループの売上：11億円超（R1）
- 生産販売事業では新規雇用者の7割が県外から社員58名で平均年齢39歳（福祉以外）
- 福祉事業では女性中心に63名が活躍（R2）

ウェブサイト▶ <https://www.muchachaen.jp/>

- 地域特産品のトマトを使ったトマト酢やケチャップの加工・販売、農家レストラン等の取組により、地域農業者の収益確保や雇用の場、交流人口の拡大等を図っているほか、草刈りや墓掃除などを提供する「なんでも屋ゆすかわ」、デマンドタクシー事業も展開。

基本情報

- 所在地：愛媛県西予市
- 選定表彰：
 - ・第5回ディスカバー農山漁村の宝（H27）
 - ・第15回オーライニッポン大賞ライフスタイル賞（H29）
 - ・フードアクションニッポンアワード2018
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・トマト加工品（トマト酢、ケチャップ等）
 - ・農家レストラン「食堂ゆすかわ」
- 活用した支援施策：
 - ・都市農村共生・対流総合対策交付金（人材活用事業）
 - ・愛媛県6次産業化チャレンジ総合支援事業

取組の概要

- 規格外トマトを活用するため、特産品開発班がトマト酢やケチャップ等のトマト加工品の開発・販売を行うほか、JAの空き施設を活用した農家レストランも展開。
- 特産品開発班は「企業組合遊子川ザ・リコピンズ」として法人化。組合委員22人で構成し雇用創出に貢献。
- 遊子川トマトオーナー制度や移住体験ツアーを開始し、交流人口の拡大にも貢献。
- 「なんでも屋ゆすかわ」やデマンドタクシーなど生活・環境整備事業を実施。



トマトを活用した商品開発

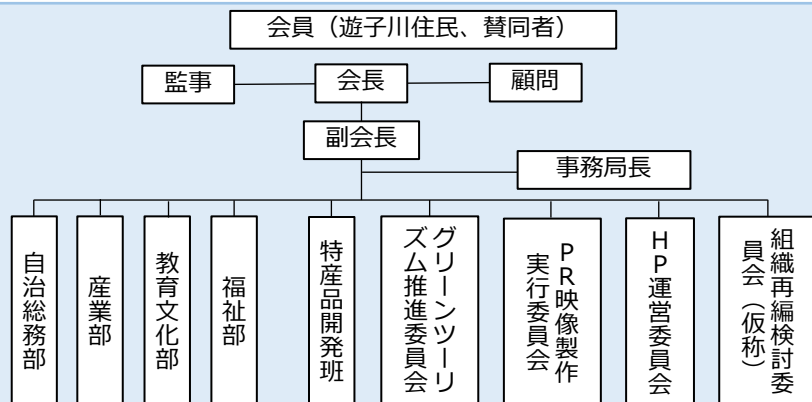


農家レストラン「食堂ゆすかわ」



デマンドタクシー

体制図



取組の成果

- トマト特産品の開発・販売 → 生産量1割ほどの規格外品の有効活用
- 特産品開発班を法人化 → 地域農業者の収益確保や雇用の場を創出
- トマトオーナー制度 → 毎年50口募集し、地域外からも多数応募
- 自主制作映画による魅力発信 → 取材や問合せ増加など、知名度向上
- 「なんでも屋ゆすかわ」、デマンドタクシー運行など → 地域実情を考慮した生活環境の改善・充実

ウェブサイト ▶ <https://yusukawamoriagetai.com/>

- 「安心して生活できる村」を目指して、官民の垣根を超え、組織を設立。村の抱える課題解決のため、6つの部を設けて、生活、産業、福祉といった様々な活動に総合的に取り組む。

基本情報

- 所在地：高知県幡多郡三原村
- 主力商品・イベント：
 - ・三原米、刺身こんにゃく、ししとう、店舗運営（田舎料理レストラン）、コインランドリー、体験ミニツアー（古木めぐりなど）、ふれ合い活動（婚活イベント、健康セミナーなど）、販売イベント（村外で出張販売）
- 活用した支援施策：
 - ・高知県政策「小さな拠点づくり構想・集落活動センター」

取組の概要

- 店舗部：地元食材で日替定食を提供する田舎料理レストラン運営。弁当販売も実施。
- 福祉支援部：生きがいづくり。各種イベントの実施。コインランドリー運営。
- 特産品販売促進部：食文化を引き継いだ商品の掘り起こしや開発。イベント販売等。
- 移住促進部：移住者と村民の交流会実施。移住促進住宅の指定管理。
- 生産部：ししとうのハウス栽培、三原米のブランド化を農事組合法人や研究会で実施。
- 観光部：村の資源を掘り起こして体験ミニツアー（古木めぐり、皿鉢づくり等）を実施。



やまびこカフェ

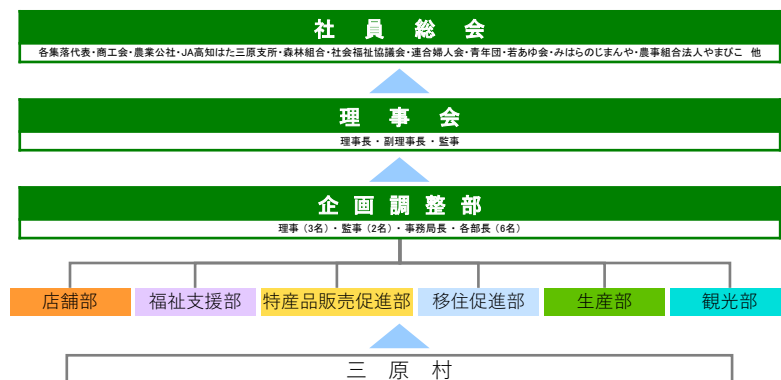


コインランドリー



ブランド米「水源のしずく」

体制図



取組の成果

- カフェ来客数：12,432人（H29）→ 13,119人（R1）
 - コインランドリー売上：1,426千円（H29）→ 1,852千円（R3）
 - 特産品販売売上：104千円（H29）→ 3,990千円（R1）
- ※カフェ来客数や特産品販売売上は、R2以降は新型コロナウイルスの影響あり。

○平成29年に法人化。カーネーションを年間約72万本生産するほか、加工品製造や体験農園、花のオーナー制度などを通じて関係人口の拡大に貢献。コロナ禍を転機に、新たな地域の産品として唐辛子生産を開始。

基本情報

- 所在地：佐賀県唐津市
- 選定表彰：
 - ・佐賀県花き園芸共進会 農林水産大臣賞（H27）
 - ・佐賀農業賞 九州農政局長賞（H26）
 - ・全国青年農業者会議 経営局長賞（H19）
- 主力商品・イベント：
 - ・カーネーション、唐辛子の加工品
 - ・唐津花の大学
 - ・航空会社とコラボしたギフト商品
 - ・唐津ピリカラ協会発足イベント
- 活用した支援施策：
 - ・さがアグリヒーローズ（さが農村イノベーション推進事業）
 - ・さが農村ビジネス支援事業

取組の概要

- 花のオーナー制度「唐津花の大学」を開設し、県内外から受講生（オーナー）が参加。
- カーネーションを活用した加工生花、フラワーボックス等の販売、体験農園等を展開。
- 新たに唐辛子の生産を開始し、加工品を開発・販売。県内の唐辛子生産農家、飲食店等を会員とした「唐津ピリカラ協会」を発足し、新たな産品として定着を目指す。
- 花き、唐辛子の生産・出荷調整作業の一部を福祉事業所と連携。
- 『協業』をキーワードに、契約栽培の推進、農地や雇用の課題解決への取組を進める。



唐辛子加工品

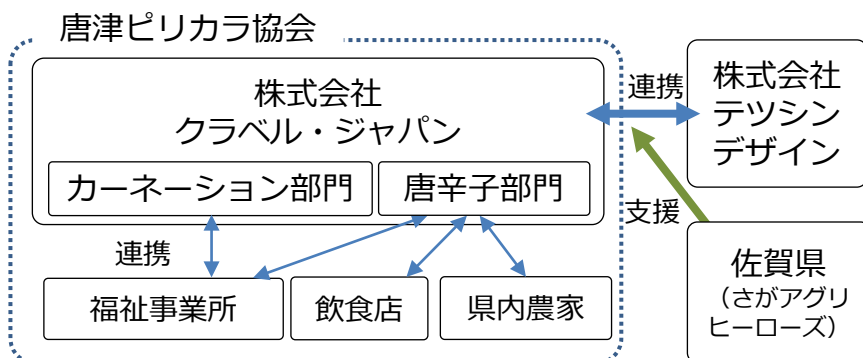


唐津ピリカラ協会



唐津花の大学

体制図



取組の成果

- カーネーション：フラワーボックス等ギフト商品 10種類
- 「唐津花の大学」受講生 のべ53組（R1～3）
- 福祉事業所との作業連携（雇用創出） のべ12事業所180名
- 「唐津ピリカラ協会」による地域活性化（生産者と飲食店との連携）

ウェブサイト▶<https://clavel-japan.jp/>

- 平成12年に農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。農産加工品の製造・販売（6次化）のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。雇用拡大などを実現。

基本情報

- 所在地：長崎県大村市
- 選定表彰：
 - ・令和3年度農林水産祭「天皇杯」多角経営部門
 - ・令和2年度6次産業化優良事例表彰 農林水産大臣賞
 - ・「ディスカバー農山漁村の宝」第6回選定（R1）
 - ・平成19年度全国地産地象活動優良表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・ジェラート等、食育・農林漁業体験
- 活用した支援施策：
 - ・農業構造改善事業（施設立ち上げ時）

取組の概要

- 農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。
- 地元農産物(生鮮品)のほか、6次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングやレストランウェディングなどを提供。
- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。
- 大村市のふるさと納税の返礼品として、農産物の詰め合わせや加工品等を出品。



おおむら夢ファームシュシュ

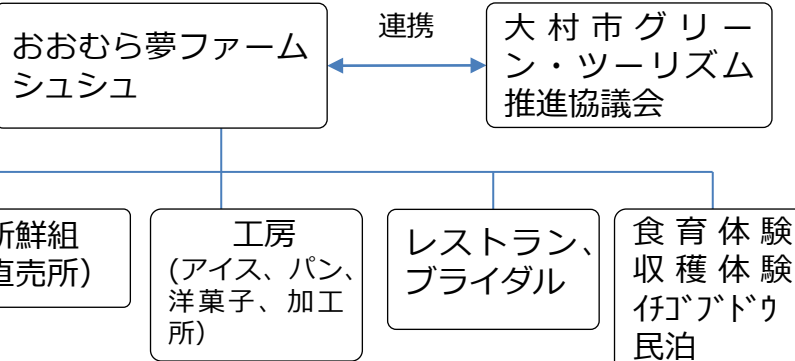


地元産の農産物を使用したジェラート



農産物を使用したオリジナル加工品

体制図



取組の成果

- 6次化による売上高：3.2億円（H26）⇒ 3.9億円（H30）
- 年間集客数：約49万人（H30）
- 食育・農業体験者数：約3万人（H30）
- 従業員：年間100名以上（季節雇用含む）
- 常時雇用職員の女性割合：8割

ウェブサイト▶<http://chouchou.co.jp/>

地域資源：農林水産物、家畜
 事業分野：食品、観光・旅行、健康・医療
 事業主体：生産者、大学、学校・保育園、市、県

○「すべての人々の生活に健康と美容と癒しを届ける」という理念の下、提携農家とともに宮古島の環境に適したアロエベラを栽培し、加工品の開発・製造を行う。自社農園ではヤギに雑草を食べさせフンをたい肥にして畑に戻す循環型農業を実現するとともに、ヤギと触れ合える観光牧場や、アロエ商品を中心とした土産店やカフェも展開。

基本情報

- 所在地：沖縄県宮古島市
- 選定表彰：
 - ・ 6次産業化アワード食料産業局長賞（R1）
 - ・ 第7回「ディスカバー農山漁村の宝」（R2）
 - ・ 地産地消等優良活動表彰大臣官房長賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・ アロエ及びアロエ加工品
 - ・ 蜂蜜 ・ ヤギのいる観光農園
 - ・ オンライン体験（アロエの食べ方・育て方教室）
- 活用した支援施策：
 - ・ 沖縄県離島デジタル広報・販売スキル向上事業
 - ・ 沖縄県農林水産物流通条件不利性解消事業

取組の概要

- ヤギを活用したアロエベラの有機栽培とともに、加工品（ジュース、美容ドリンク等）を開発・製造。アロエベラは通年収穫可能なため、雇用創出にも貢献。
- 2020年には牧場に隣接した場所にアロエベラと地元産マンゴー等のフルーツを使ったジュースやスイーツの提供、加工品等の販売を行うカフェをオープン。
- 地域の農家が農産物を販売できるよう直売所を開設し、地元の学校給食での提供や地産地消の推進や農家の所得向上にも貢献。



ヤギとアロエベラ

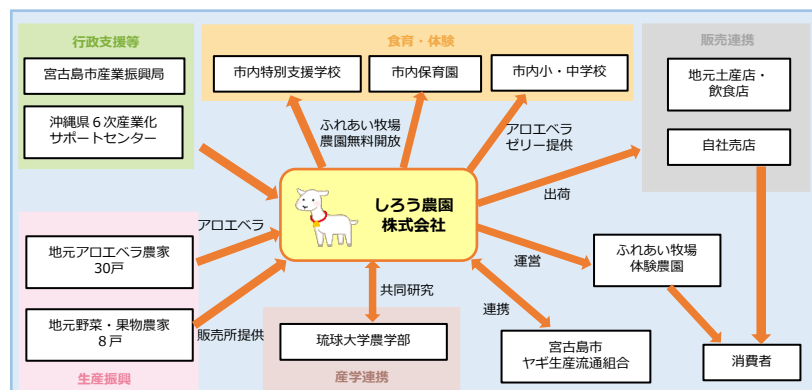


ふれあい牧場に併設するカフェ



しろう農園の従業員

体制図



取組の成果

- 直売所開設により売上が年間100万円増
- アロエ取扱額が10年間で8倍
- 従業員15人中10人が地元出身
- アロエ栽培面積が約15ha（国内最大規模）
- ヤギ30頭以上の観光農園により集客

ウェブサイト ▶ <http://shirou-nouen.net/> ▶ <https://www.goatcafe.jp/>

株式会社 沖縄UKAMI養蚕

地域資源：農林水産物、廃校、荒廃農地
事業分野：福祉、健康・医療
事業主体：就労支援事務所、地元企業

○地域の生物資源「エリ蚕（神樹蚕）」から生産された沖縄シルクをスキンケア商品として加工し、ブランド化してフランスや中国にも進出。養蚕と飼料生産に廃校と荒廃農地を活用するほか、養蚕施設の整備や飼料生産のために高齢者雇用、蛹と繭の選別のために農福連携に取り組むなど、地域の資源と人材を活用。

基本情報

- 所在地：沖縄県今帰仁村
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）
 - ビジネス・イノベーション部門 グランプリ
- 主力商品・イベント：
 - ・シルク製品（化粧品、ダイエット食品等）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 今帰仁村内の廃校舎を活用し、エリ蚕の養蚕を開始。エリ蚕の餌のキャッサバ栽培圃場は耕作放棄地を活用しており、現在3.7haを借り受け、遊休地解消に貢献。
- 高齢者雇用のほか、養蚕の作業である蛹と繭（＝シルク）との分別を就労支援事業所と連携して実施。高齢者、障害者の活躍の場を広げ所得向上に貢献。
- フランスで自社ブランド「VILANJE（ヴィランジェ）」商品の販売を開始。R元年6月に国内大手通販会社、R3年12月に大手百貨店（東京・名古屋）、R4年6月には名古屋市に販路を拡大。R2～4年度はコロナ禍の影響を受けたが、中国にリアル店舗を持つ大手百貨店越境ECサイトでの販路を獲得し、発信を続け認知度向上につなげている。



廃校を活用した作業場



荒廃農地を活用したキャッサバ畑

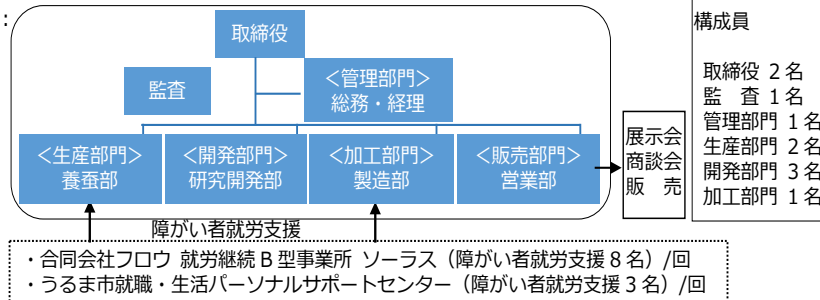


フランスでの
自社ブランド商品

体制図

設立年：平成18年4月（沖縄県へ本店移転 平成25年4月）

組織図：



取組の成果

- 売上：約400万円（R1）→ 約1,600万円（R4）
- 荒廃農地の活用：1.3ha（H29）→ 3.7ha（R4）
- 就労支援B型事業所との連携：10回（H29）→ 26回（R4）
- 高齢者雇用数：2人（H29）→ 5人（R4）

ウェブサイト▶ <https://www.ukami.co.jp/>